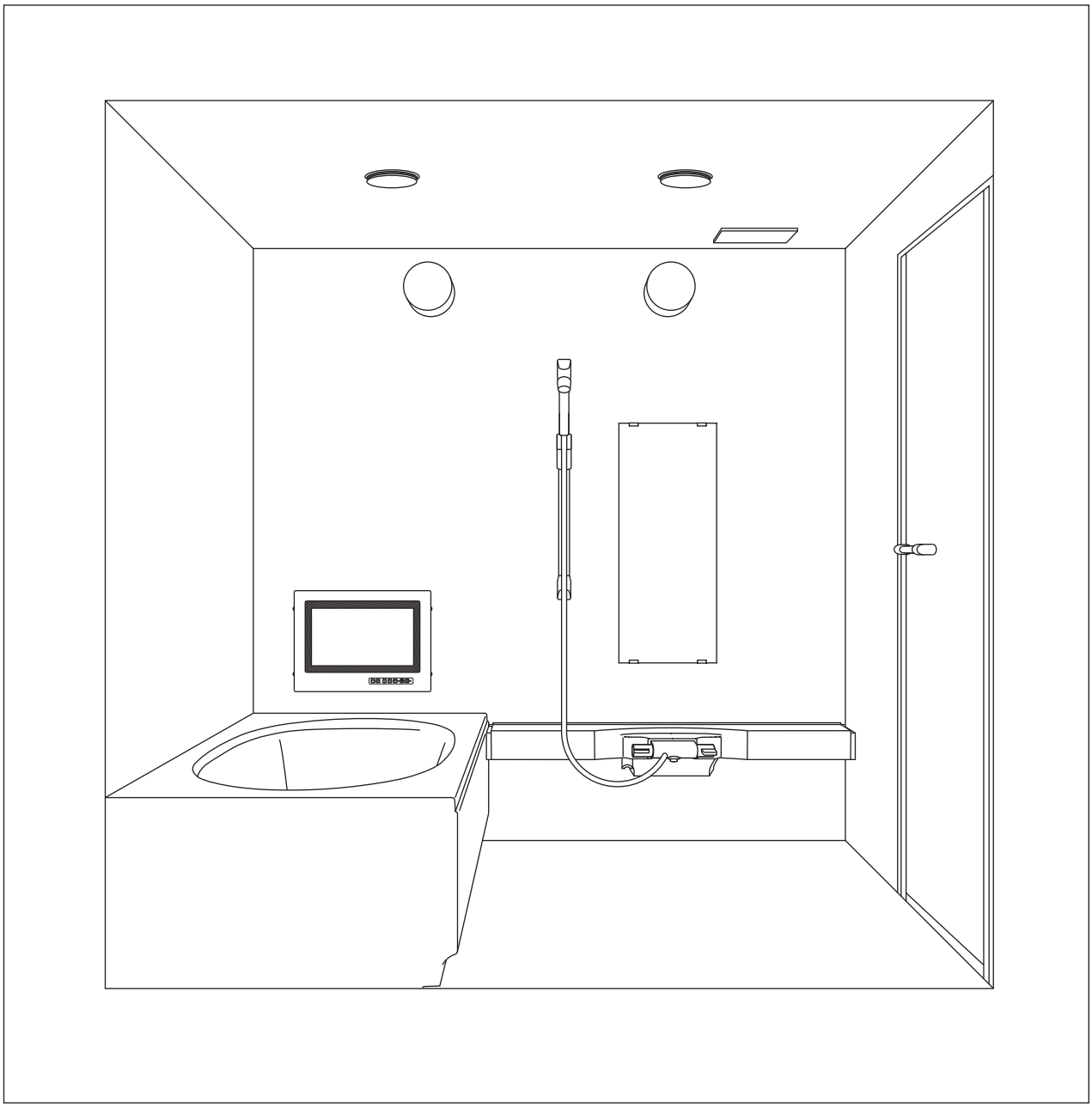
Sun-Abe

浴室液晶テレビ設置施工マニュアル

壁掛タイプ　　SBT-16D2W(H/K)



サンエーブ技研工業株式会社
初版判　2011年 5月 23日

もくじ

作業安全上のご注意 3

設置施工に必要なもの 4

本体及び付属品 5

浴室液晶テレビ取付イメージ 6

施工手順 7
- ■テレビアンテナの一次側配線について 8
- ■本体取付位置の確認 9
- ■スピーカー取付位置の確認/決定 10
- ■電源ユニット設置位置の確認 11
- ■施工手順のご確認 12
- ■本体取付面の開口(壁掛タイプ) 13
- ■壁面ステーの取付(壁掛タイプ) 14
- ■スピーカーの開口/配線 15
- ■本体ケーブル通線 16
- ■ケーブル通線口止水処理 17
- ■本体の取付 18
- ■電源ユニットの配線 19
- ■テレビアンテナ線接続 20
- ■アース接続/AC100V供給 21
- ■一次通電テスト 24
- ■スピーカーの取付 25
- ■本体止水処理 26
- ■電源ユニット初期設定 27

拡張機能について 29
- ■ビデオモード1を使用する 30
- ■ビデオコントロール機能を使う 31
- ■バスオーディオ/BGMシステムとの連動 32

故障診断フローチャート
- ■電源がはいらない 33
- ■設定用リモコンが操作できない 34
- ■地上アナログ放送で映像がゆれる、不鮮明 35
- ■デジタル放送で映像がゆれる、不鮮明 36
- ■テレビ視聴時に音が出ない 37
- ■ビデオモードで映像が出ない 38
- ■ビデオモードで音が出ない 39
- ■ビデオモード1でIRコントロールが出来ない 40

主な仕様 41

各製品寸法図
- ■本体外形寸法（SBT-16D2W） 42
- ■壁面ステー寸法/開口指示 43
- ■電源ユニット 44
- ■ACアダプター 45

改訂履歴 46

作業安全上のご注意

必ずお守り下さい

作業時の事故防止と、作業後の製品の安全確保のために、色々な表示をしています。
その表示と意味は以下のようになっています。

表示	意味
警告	この表示の警告事項を無視して本製品の取扱及び施工を行うと、人命身体にかかわる死傷事故、財産に対する損害事故が生ずる可能性があります。 弊社ではこのことに起因するいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。
注意	この表示の注意事項を無視して本製品の取扱及び施工を行うと、本製品が破損又は誤動作する可能性があります。 弊社ではこのことに起因するいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

	一般的な禁止
	必ず行う
	分解禁止
	アースを接続せよ
	コンセントを抜く
	注意喚起

警告

	浴室液晶テレビ本体及び電源ユニットは精密構造となっております。 慎重にお取扱下さい。
	施工前には、必ず作業場所の安全確保を行って下さい。 浴室内に水滴などが付着している場合は、乾いた布などで拭取ってから作業を開始して下さい。
	施工時は、浴室の壁面/浴槽などに傷を付けないよう、作業場所の保護をしてから 行って下さい。
	本製品はAC100V専用です。他の電源は使用しないで下さい。 発火などによる機器破損の恐れがあります。
	施工上いかなる理由があっても、製品及びシステムケーブルの分解改造は行わないで下さい。 誤動作/故障の原因となり、保証修理の対象外となります。
	施工時は、必ず接地工事を行って下さい。 漏電/感電の恐れがあります。
	電気工事は、電気工事業者に依頼して下さい。 感電の恐れがあります。

作業安全上のご注意

必ずお守り下さい

⚠注意

	本体及び電源ユニットに異常が見られた時は、速やかに電源コンセントを抜いて下さい。
	本製品開梱時には、本体の傷/ガラスの破損などを確認して下さい。 傷や破損があった場合は、速やかに販売店までご連絡下さい。
	本製品開梱時に、本体及び付属品の内容を確認して下さい。 万が一、欠品があった場合は速やかに販売店までご連絡下さい。
	浴室液晶テレビ本体を取り付ける際、必要に応じて壁裏補強を行って下さい。
	スチームサウナなど、高温(60℃以上)になる場合には取り付けできません。 また、浴室暖房などを併設している場合、温風が直接当たらない場所に設置して下さい。

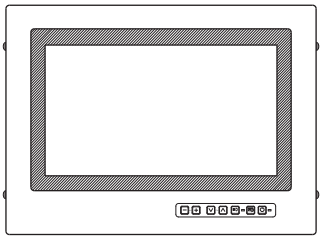
設置施工に必要なもの

一般工具	ドライバー/ペンチ/ニッパー/圧着ペンチ/充電ドリルドライバーなど
一般材料	ビニールテープ/結束バンド/圧着端子など
配線材料	同軸ケーブル(S-5C-FB)/電線(VVF1.6×2C)/スピーカーケーブルなど
振動ドリル/コンクリートドリル	本体取付用/壁面下穴及び開口用
コンクリートコア	配線内容により壁面貫通が必要な場合
ワイヤーストリッパー	電線加工時使用(Φ0.18～Φ1.25)
水平器	本体取付時の水平測定用
テレビ共聴分配器/分岐器	テレビ本体供給用に分配及び分岐が必要な場合
コーキング材/コーキングガン	止水処理にて使用
マスキングテープ	止水処理及び壁面外周保護用
その他	通線道具/脚立/養生シート/コードリール/作業灯/金尺など

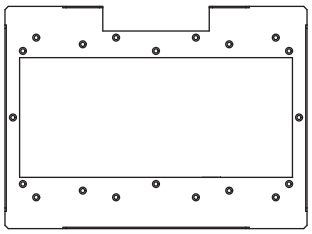
本体及び付属品

型式により、一部形状が異なる場合があります。

■壁掛タイプ



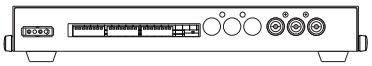
●浴室液晶テレビ本体(1台)



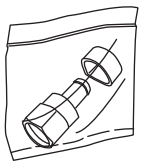
●壁面ステー(1台)

●本体固定用ねじ(5本)

●壁面ステー固定用
化粧ワッシャ(5個) ねじ・カールプラグ(各5本)

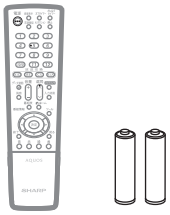


●電源ユニット(1台)

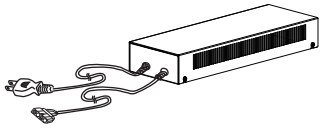


●同軸用接栓(1個)
(システムケーブルD専用)

●中継接栓(1個)

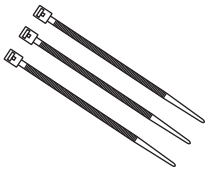


●設定用リモコン(1個)
リモコン用単4形乾電池(2個)

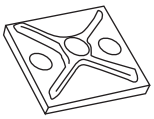


(約150cm/40cm)

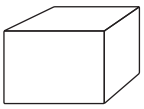
●ACアダプター(1台)
ACコード(1本)



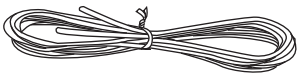
●結束バンド(3本)



●システムケーブル固定用
マウントベース(1個)



●止水処理用パテ(1個)



●スピーカー延長ケーブル
(5m・スピーカー台数分)

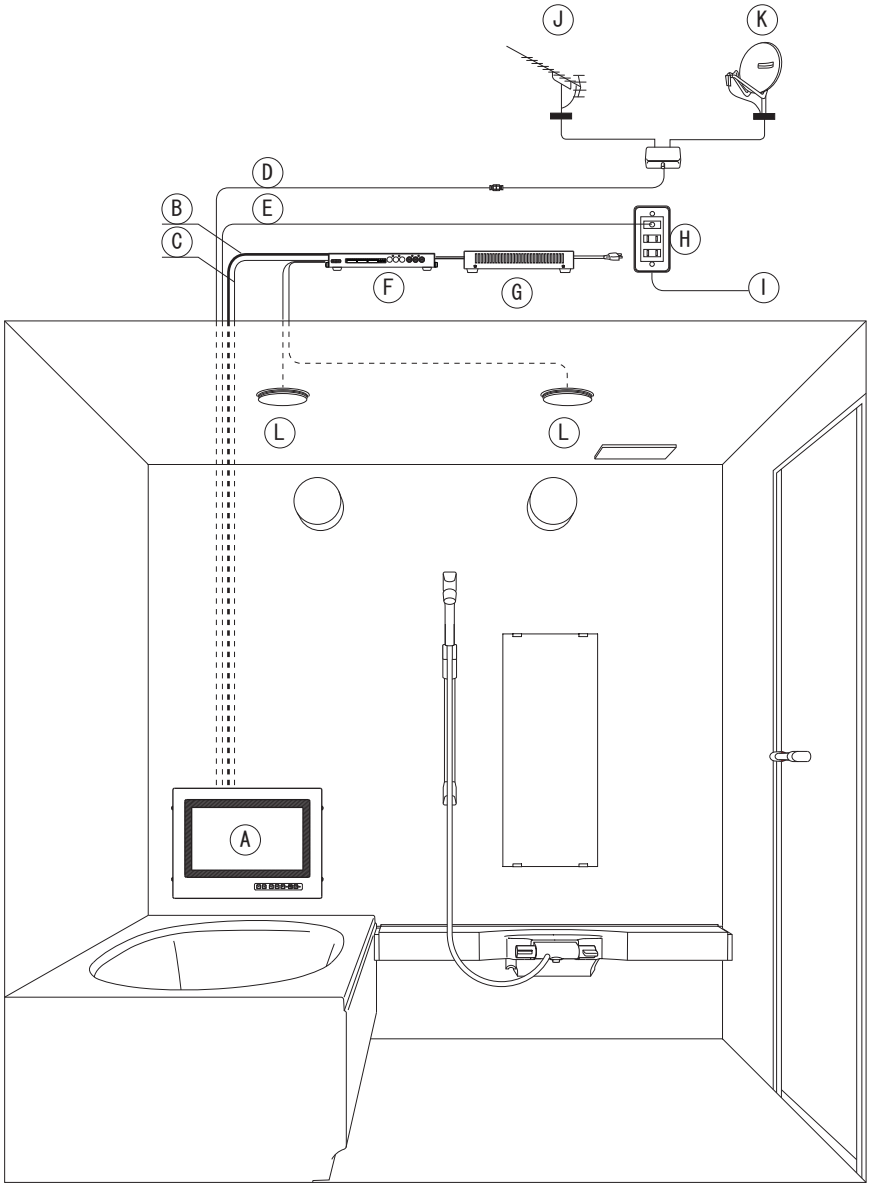
●取扱説明書(1冊)

●設置・施工説明書(本書・1冊)

●B-CASカード登録申請書類(1部)

●保証書(1部)

浴室液晶テレビ取付イメージ



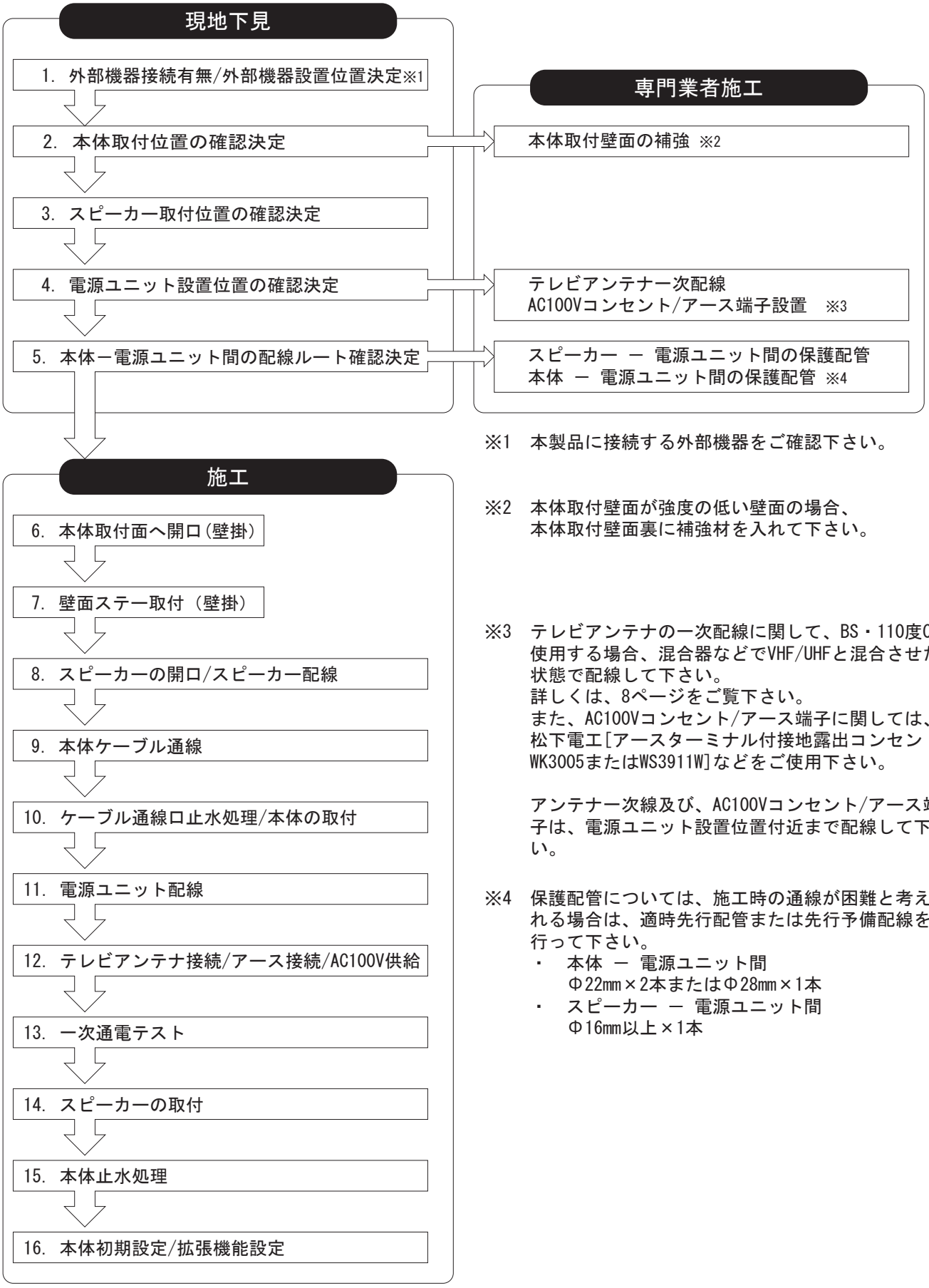
Ⓐ	浴室液晶テレビ本体	Ⓖ	ACアダプター
Ⓑ	システムケーブルA(9芯)→電源ユニットへ接続	Ⓗ	AC100Vコンセント/アース端子
Ⓒ	システムケーブルB(4芯)→電源ユニットへ接続	Ⓘ	AC100V一次側/アース接地側
Ⓓ	システムケーブルD(アンテナ)→アンテナー次側へ接続	Ⓙ	UHFアンテナ
Ⓔ	システムケーブルE(アース)→アース端子(接地)へ接続	Ⓚ	BS/110度CSアンテナ
Ⓕ	電源ユニット	Ⓛ	防水スピーカー(2台)

■ 上記イメージは、基本接続パターンです。外部機器のご使用など拡張機能を使用する場合は、31ページをご覧下さい。
■ 浴室液晶テレビ本体から、本体システムケーブルが直接出ています。(ケーブル長は各7m)
壁面内を隠ぺい配線する場合は、事前に保護配管または予備線の先行配線を行っておくことをお奨めします。
■ 保護配管を設置する場合、Φ22㎜×2本またはΦ28㎜×1本を行って下さい。
尚、保護配管の曲げ角度は出来るだけ鋭角にしないようにして下さい。

※ ⒽⒾⒿⓀ の施工は、専門業者に依頼して下さい。
※ ⒿⓀ の構成は、設置場所や、視聴したい放送により異なります。

施工手順

・　施工に関しては下記の手順で実施して下さい。



※1　本製品に接続する外部機器をご確認下さい。

※2　本体取付壁面が強度の低い壁面の場合、
本体取付壁面裏に補強材を入れて下さい。

※3　テレビアンテナの一次配線に関して、BS・110度CSを使用する場合、混合器などでVHF/UHFと混合させた状態で配線して下さい。
詳しくは、8ページをご覧下さい。
また、AC100Vコンセント/アース端子に関しては、松下電工[アースターミナル付接地露出コンセント：WK3005またはWS3911W]などをご使用下さい。

アンテナー次線及び、AC100Vコンセント/アース端子は、電源ユニット設置位置付近まで配線して下さい。

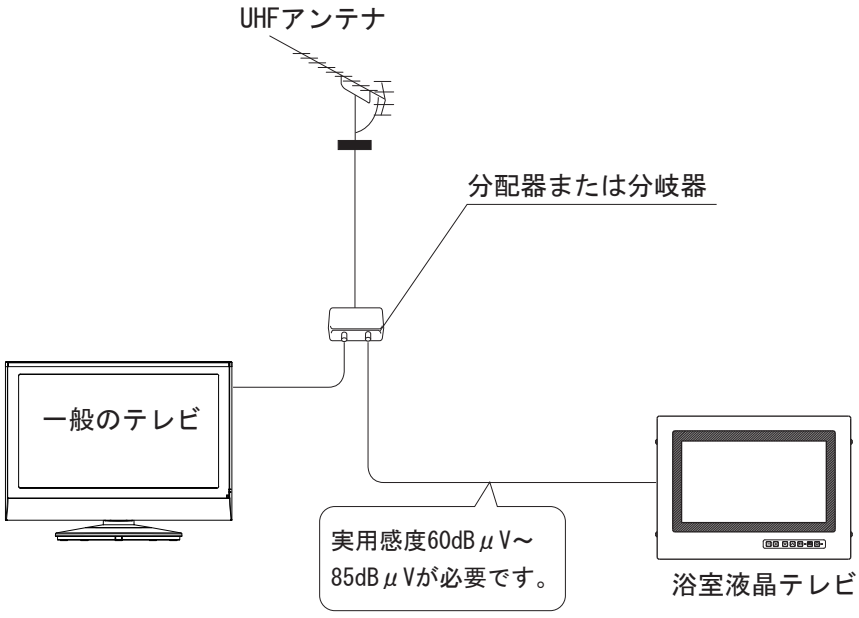
※4　保護配管については、施工時の通線が困難と考えられる場合は、適時先行配管または先行予備配線を行って下さい。
- 本体 ー 電源ユニット間
Φ22mm×2本またはΦ28mm×1本
- スピーカー ー 電源ユニット間
Φ16mm以上×1本

テレビアンテナの一次側配線について

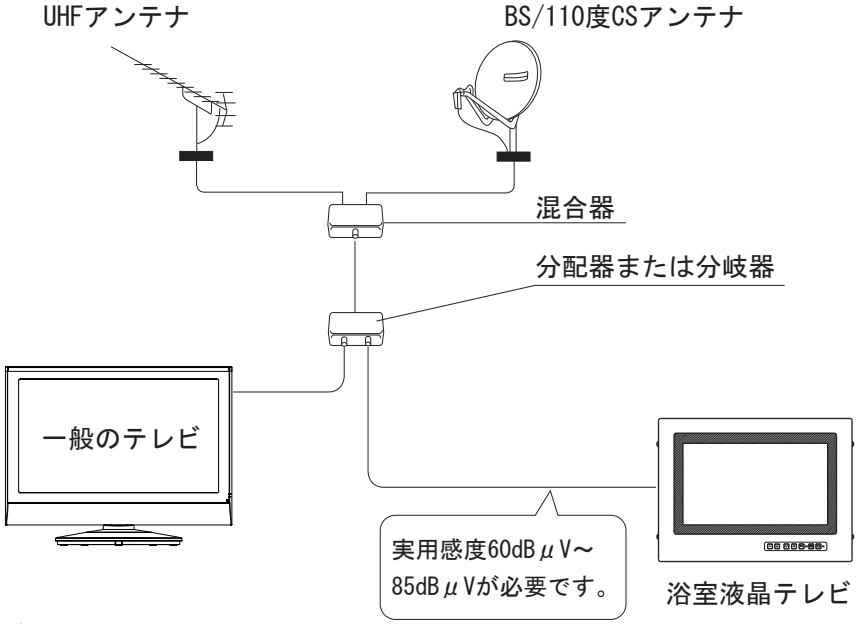
■ 本製品は、地上デジタル/地上アナログ/BSデジタル/110度CSデジタルチューナーを内蔵しております。
また、CATV(ケーブルテレビ)の場合は、ケーブルテレビ会社にお問い合わせ下さい。
設置する浴室液晶テレビでの視聴内容によって、アンテナ線一次側の処理を行って下さい。

■ 浴室液晶テレビ供給用に、アンテナ線を分配または分岐すると、信号レベルが減衰する事があります。
ブースターを接続するなどして信号レベルを調整して下さい。

地上デジタルを視聴する場合



地上デジタル/BSデジタル/110度CSデジタルを視聴する場合

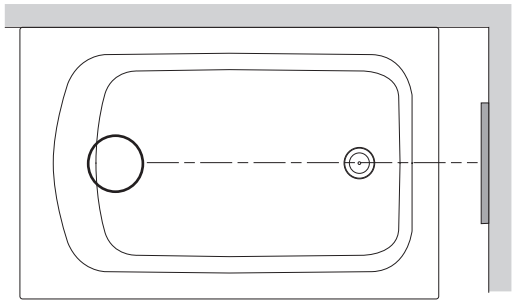


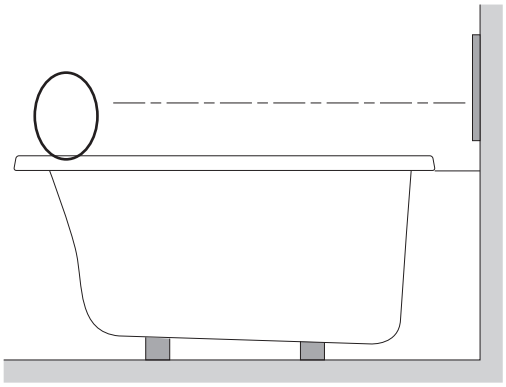
■ 浴室液晶テレビへのアンテナー次側配線は、
混合器でUHF/VHFとBS/110度CSを混合させた
状態で配線して下さい。

本体取付位置の確認

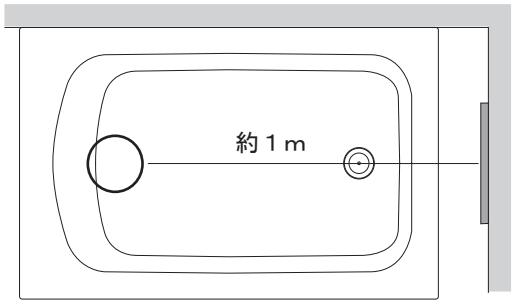
■ 浴室液晶テレビ本体は、以下の取付推奨位置をご参考のうえ、取付位置を決定して下さい。
■ 浴室液晶テレビ本体の画面は上, 左右方向の視野角は100度ありますが、下方向の視野があまりよくありません。
取付壁面は出来るだけ低い位置に設置して下さい。
浴室液晶テレビと視聴する場所との距離が約１ｍ程度、離なれていれば、画質劣化は最低限抑えられます。
■ 取付位置を決めるにあたり、他器具(水栓金具や壁内配管など)に干渉しないよう、取り合いには十分気を付けて下さい。
■ 直射日光や暖房機器の風が当たらない場所に取り付けして下さい。

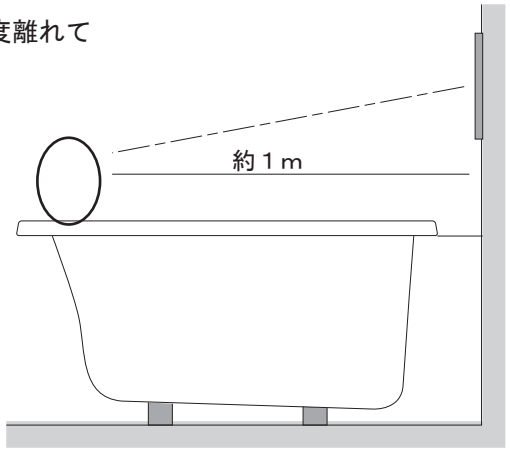
※浴室テレビの取付位置はできるだけ、低い位置に取付下さい。





※浴室テレビの取付位置が高くなる場合でも、約１ｍ程度離れていれば画質劣化は最小限です。





本体取付壁面の強度が低いと考えられる場合

・ 専門業者の方に、本体取付壁の裏面への補強工事を依頼して下さい。
・ 製品の仕様書をご確認のうえ、本体重量などを報告して下さい。

スピーカー取付位置の確認/決定

■以下の手順は、オプションの防水スピーカー[OE-180WRⅡ]をもとに記載しています。
異なるスピーカーを使用する場合は、製品の説明書をご確認下さい。
■防水スピーカー[OE-180WRⅡ]の開口寸法(Φ145mm)は、電源ユニットを出し入れできる寸法です。
浴室内に点検口がない場合は防水スピーカー設置位置付近に電源ユニットを設置することが出来ます。

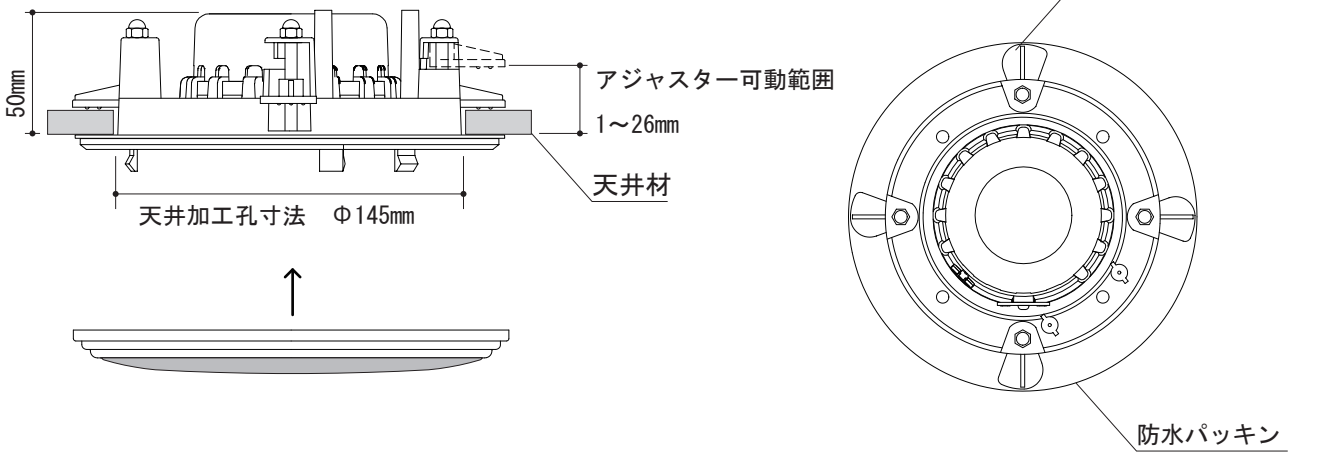
■スピーカーはローインピーダンススピーカーをご使用下さい。(4Ω～16Ω)

■取付位置については任意ですが、天井の材質、補強材の位置などを調べたうえでスピーカー取付位置
を決定して下さい。

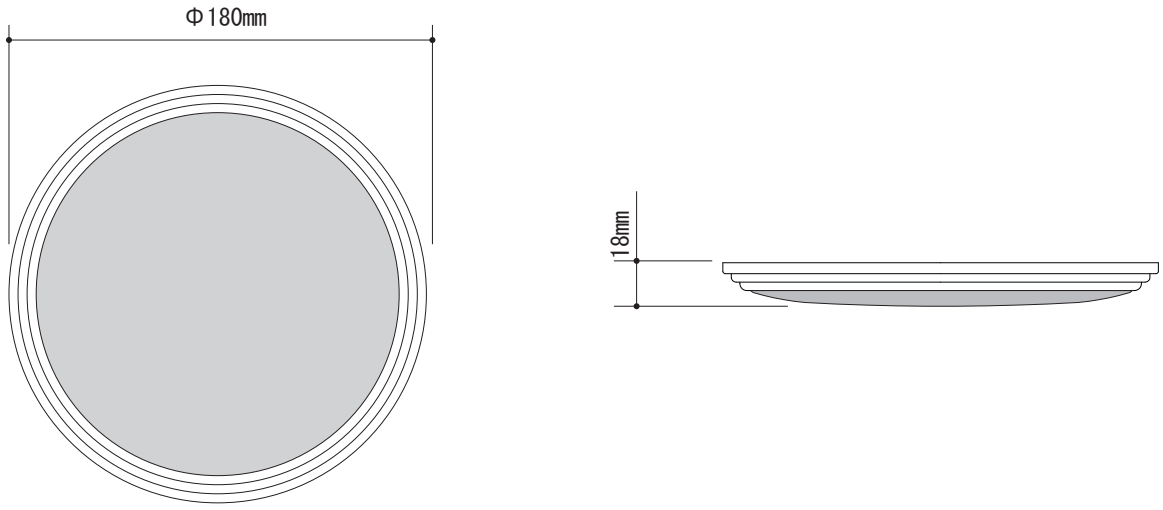
■スピーカー2台接続が必須となります。これにより(ステレオ仕様)、臨場感あるサウンドを楽しむことが出来ます。また、1台の接続の場合は接続した片側の音声しか発声しません。

※SBT-20N1Wはステレオ仕様の為、スピーカーは2個必要です。

スピーカー本体



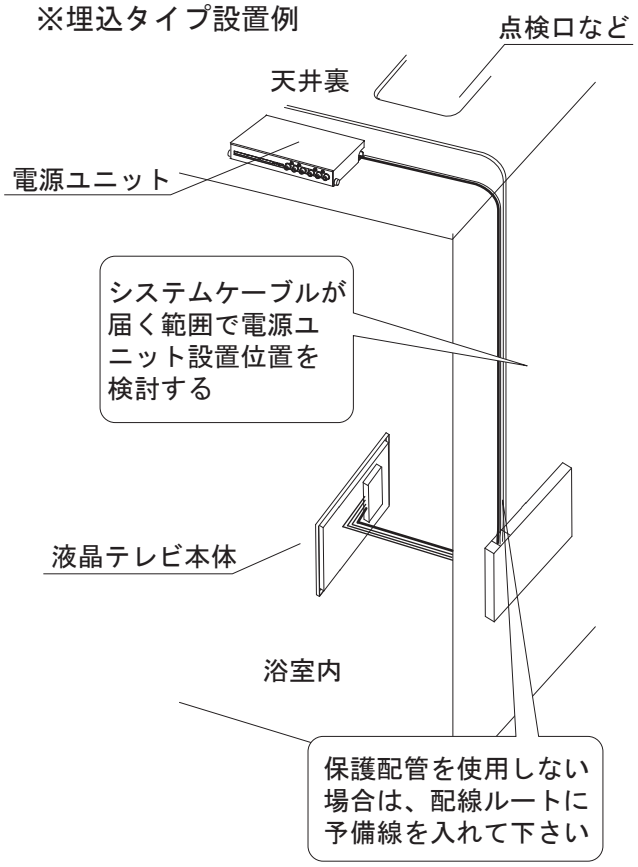
スピーカーグリル



電源ユニット設置位置の確認/決定

■ 電源ユニットの設置場所により、本体システムケーブルの通線経路が決まります。
電源ユニットは水平な場所を選んで設置して下さい。
また、テレビアンテナ線や本体からのシステムケーブルなど、複数のケーブルを接続するため、
点検口付近などの点検できる位置を選んでください。
■ 浴室液晶テレビ本体からのシステムケーブルは、本体から直接出ており、ジョイントはありません。
システムケーブルの長さは約7mです。(標準仕様の場合。10m仕様もあります。)
届く範囲に電源ユニットを設置して下さい。
■ 防水スピーカー[OE-180WRⅡ]の開口寸法(Φ145mm)は、電源ユニットを出し入れできる寸法です。
浴室内に点検口がない場合は防水スピーカー設置位置付近に電源ユニットを設置することが出来ます。
■ 電源ユニット設置位置に、ACアダプターが隣接します。

※埋込タイプ設置例



AC100Vコンセント/アース端子設置

・ 専門業者の方に、AC100Vコンセント/アース端子の設置を依頼して下さい。
・ 上記設置位置については、電源ユニット設置位置付近となります。

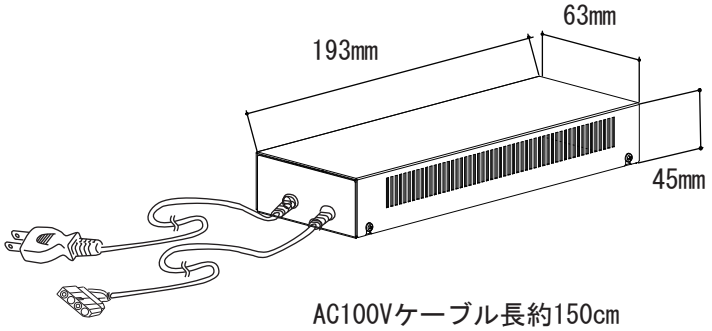
テレビアンテナー次側配線

・ 専門業者の方に、テレビアンテナの一次側配線を依頼して下さい。
・ 詳しくは7ページをご確認下さい。

本体 ー 電源ユニット間の保護配管
スピーカー ー 電源ユニット間の保護配管

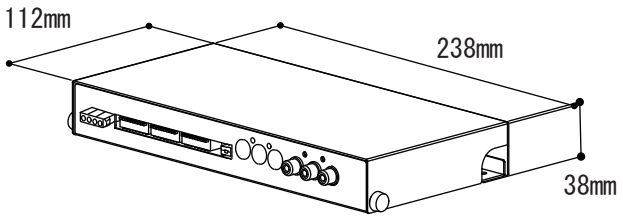
・ 専門業者の方に、保護配管を依頼して下さい。
・ 浴室液晶テレビ本体 ー 電源ユニット間…Φ28mm×1本(またはΦ22mm×2本)
・ スピーカー ー 電源ユニット間…Φ16mm以上×2本(スピーカー2台)

ACアダプター寸法



AC100Vケーブル長約150cm
DCプラグケーブル長約40cm

電源ユニット寸法



・ 電源ユニット前面には、RCAピンジャック等の拡張端子があります。周辺スペースを余分に確保して下さい。

施工手順のご確認

・　壁掛タイプと埋込タイプで参照するページが一部異なります。

壁掛タイプ

6.　本体取付面へ開口　13ページ

↓

7.　壁面ステー取付　14ページ

↓

8.　スピーカーの開口/スピーカー配線　15ページ

↓

9.　本体ケーブル通線　16ページ

↓

10.　ケーブル通線口止水処理/本体の取付　17ページ

↓

11.　電源ユニット配線　19ページ

↓

12.　テレビアンテナ接続/アース接続/AC100V供給　22ページ

↓

13.　一次通電テスト　24ページ

↓

14.　スピーカーの取付　25ページ

↓

15.　本体止水処理　26ページ

↓

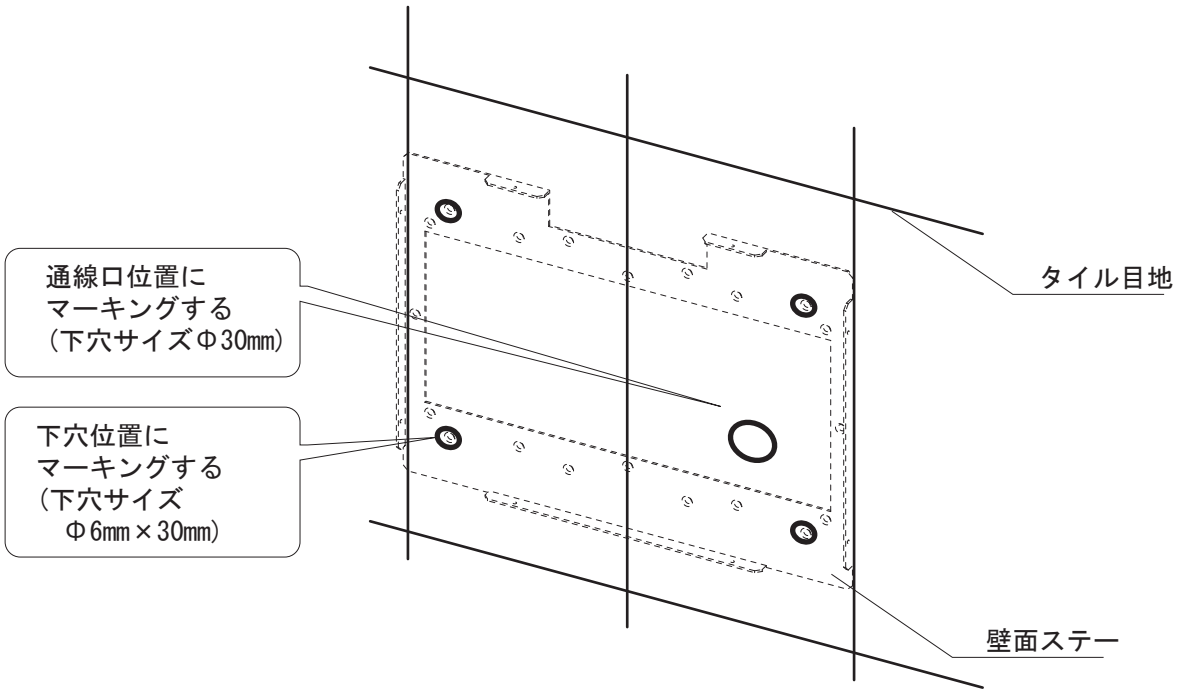
16.　本体初期設定/拡張機能設定　27ページ

本体取付面への開口（壁掛タイプ）

■ 浴室液晶テレビ本体の取付位置が決定したら、壁面ステー固定用下穴、及び本体システムケーブルの通線口をそれぞれあけます。

1 壁面ステーを取付位置に仮設置し、水平器で水平を確認しながら下穴位置と通線口をすみ出しする。

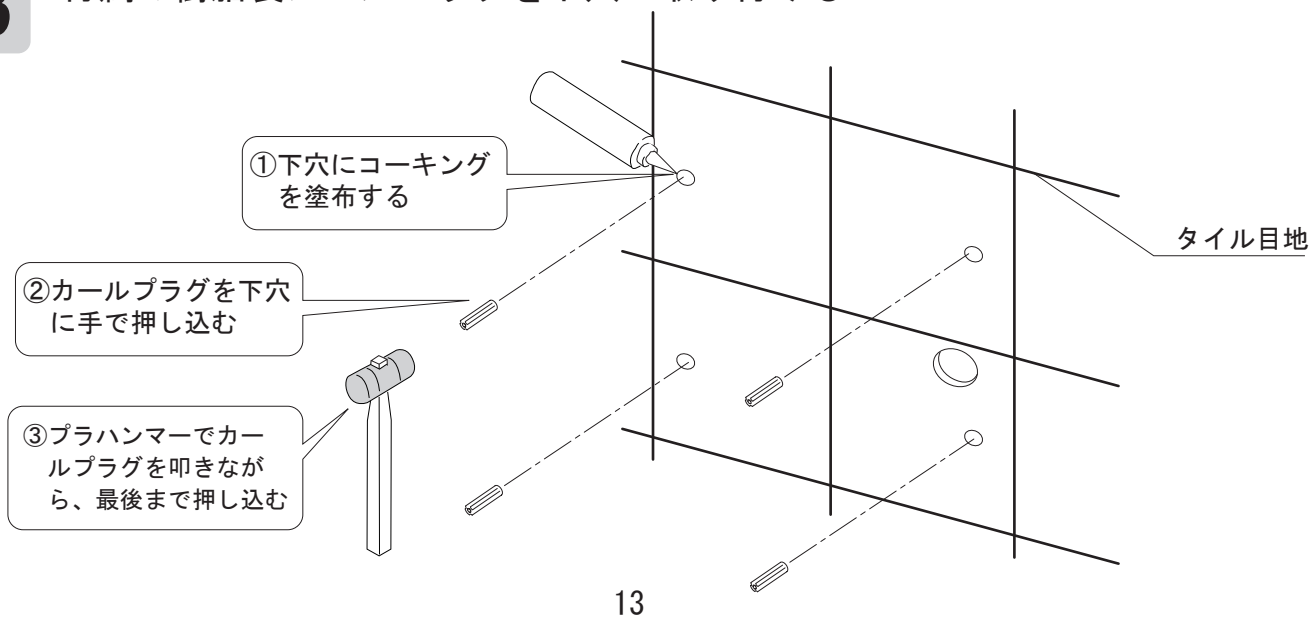
- タイルや石等の目地を避けて、壁面ステー固定用の下穴を空けます。
- 壁面ステー固定用下穴は最低4箇所、なるべく4すみに空けて下さい。
- 壁面の材質により、固定強度を確保できない場合は、壁面裏に補強材などを追加して下さい。



2 すみ出しした下穴位置と通線口に穴を空ける

- 下穴サイズはΦ6㎜、奥行きは30㎜以上空けて下さい。
- 通線口サイズはΦ30㎜空けて下さい。
- 下穴及び通線口穴は、振動ドリルなどを使用して空けます。

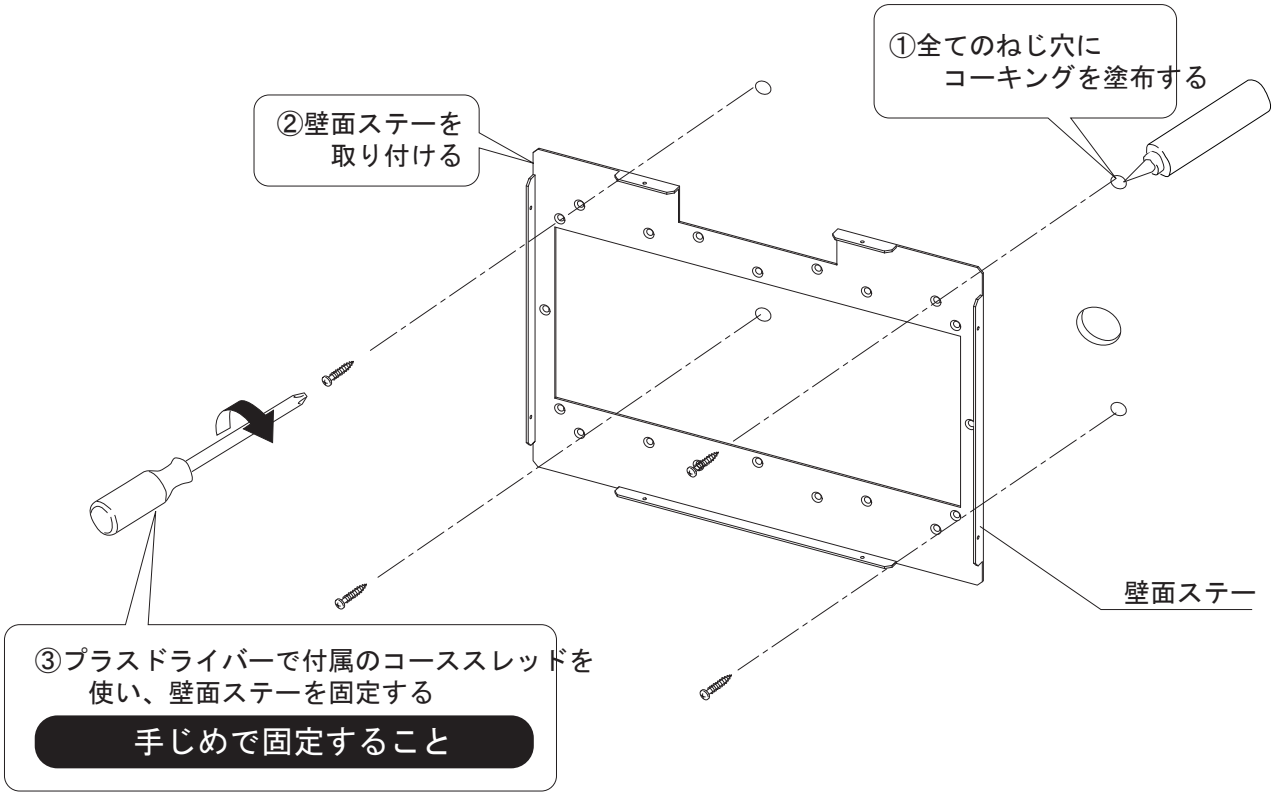
3 付属の樹脂製カールプラグを下穴に取り付ける



壁面ステーの取付(壁掛タイプ)

1 壁面ステーを固定する

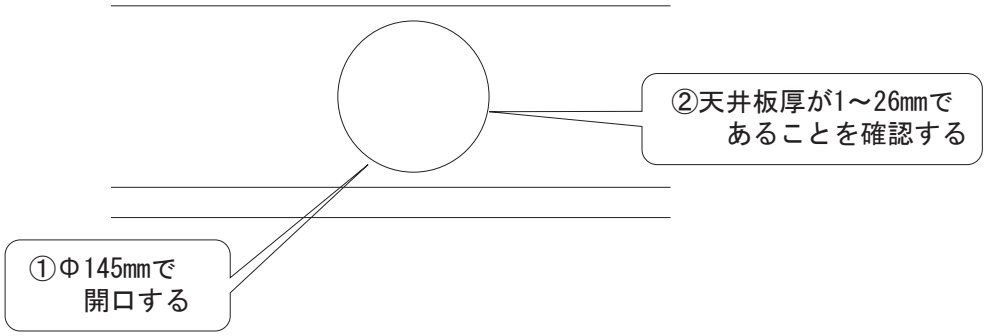
・ コーススレッドのねじ締め付けは、最終的には手締めで行って下さい。
壁面の材質により、ひび割れや崩れを起こす場合がありますので十分ご注意下さい。



スピーカーの開口/配線

- 天井の材質、補強材の位置などを調べたうえでスピーカー用の開口を行って下さい。
- 以下の手順は、オプションの防水スピーカー[OE-180WRⅡ]をもとに記載しています。
  異なるスピーカーを使用する場合は、製品の説明書をご確認下さい。

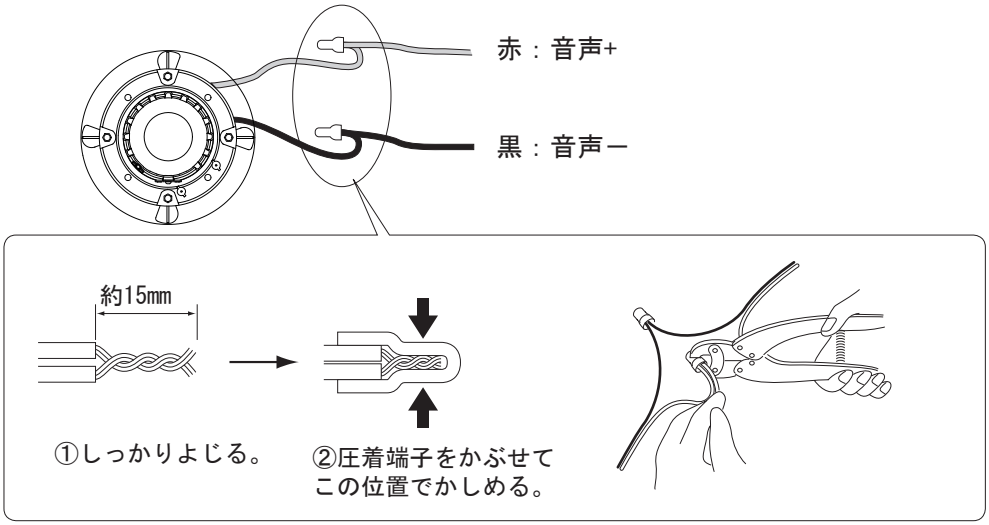
1 スピーカーの開口を行う



- 防水スピーカー[OE-180WRⅡ]の開口寸法(Φ145mm)は、電源ユニットを出し入れできる寸法です。
  浴室内に点検口がない場合は防水スピーカー設置位置付近に電源ユニットを設置することが出来ます。

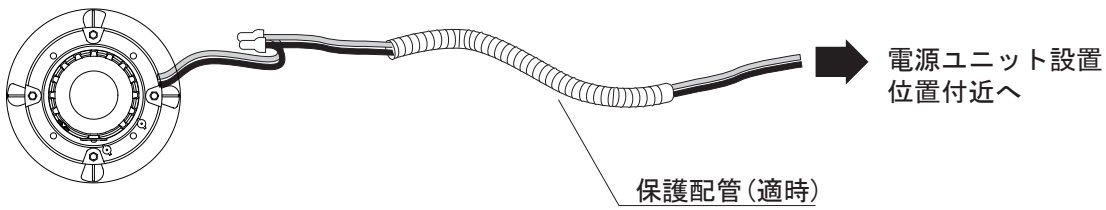
2 スピーカーの配線を延長接続する

- スピーカーに付属の延長ケーブルを接続します。
  同じ色同士で圧着して下さい。



3 スピーカーの配線を電源ユニット設置位置付近へ通線する

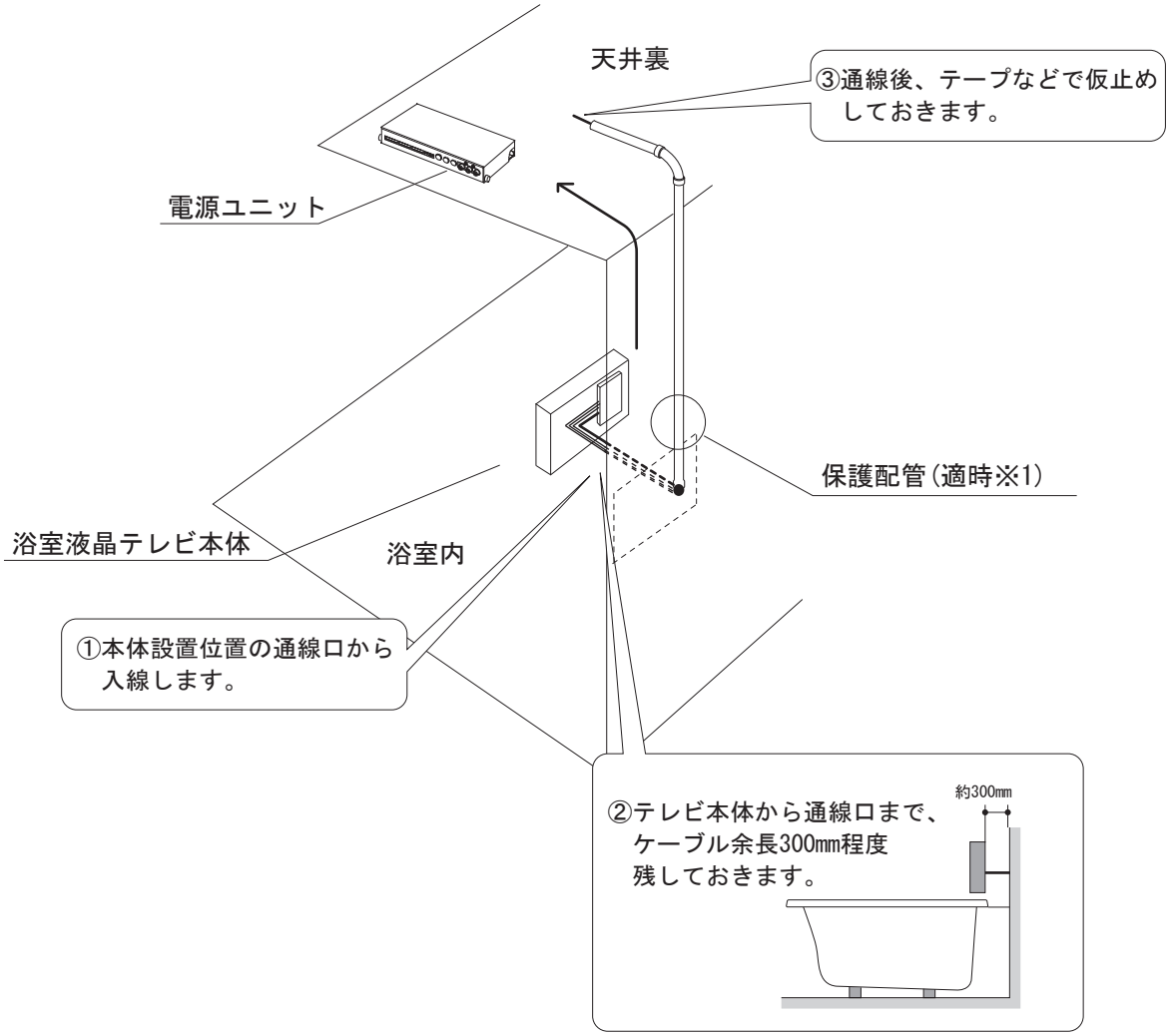
- スピーカーに接続した延長ケーブルの片側を、電源ユニット設置位置付近へ配線します。



本体ケーブル通線

・ 通線は、スチールや予備線などで通線経路を確保し、本体ケーブル先端をしっかりと固定したうえで
ゆっくりと引き上げて下さい。無理に引くとケーブルをいためてしまい、動作不良や映像/音声に支障
をきたす場合がありますので、十分にご注意下さい。

1 本体システムケーブル(4本)を、電源ユニット設置位置付近まで通線する



・ 本体システムケーブルは、浴室液晶テレビ本体から直接出ており、ジョイントはありません。
・ 通線は、本体設置位置から入線し、天井裏などの電源ユニット設置位置付近へと通線します。

・ 配線のカットや延長は、動作不良の原因となります。ケーブルの加工は絶対に行わないで下さい。

※1.保護配管を使用する場合、配管サイズはΦ28㎜×1本またはΦ22㎜×2本を使用してください。
また、ケーブルに無理な力を加えない為にも、通線液などを併用して下さい。

本体システムケーブルについて

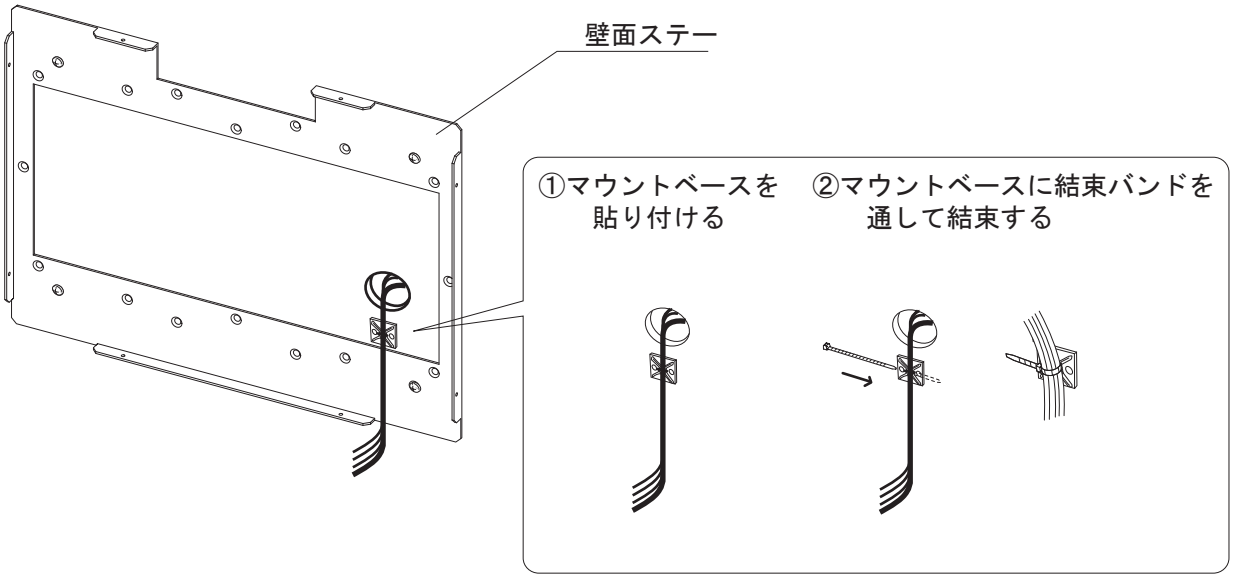
ケーブルA(制御ケーブル9芯)	Φ8.5mm
ケーブルB(制御ケーブル4芯)	Φ4.5mm
ケーブルD(同軸ケーブル)	Φ6mm
ケーブルE(アースケーブル)	Φ2.5mm

ケーブル通線口止水処理

■ 通線が終了したら、通線口に止水処理を行います。

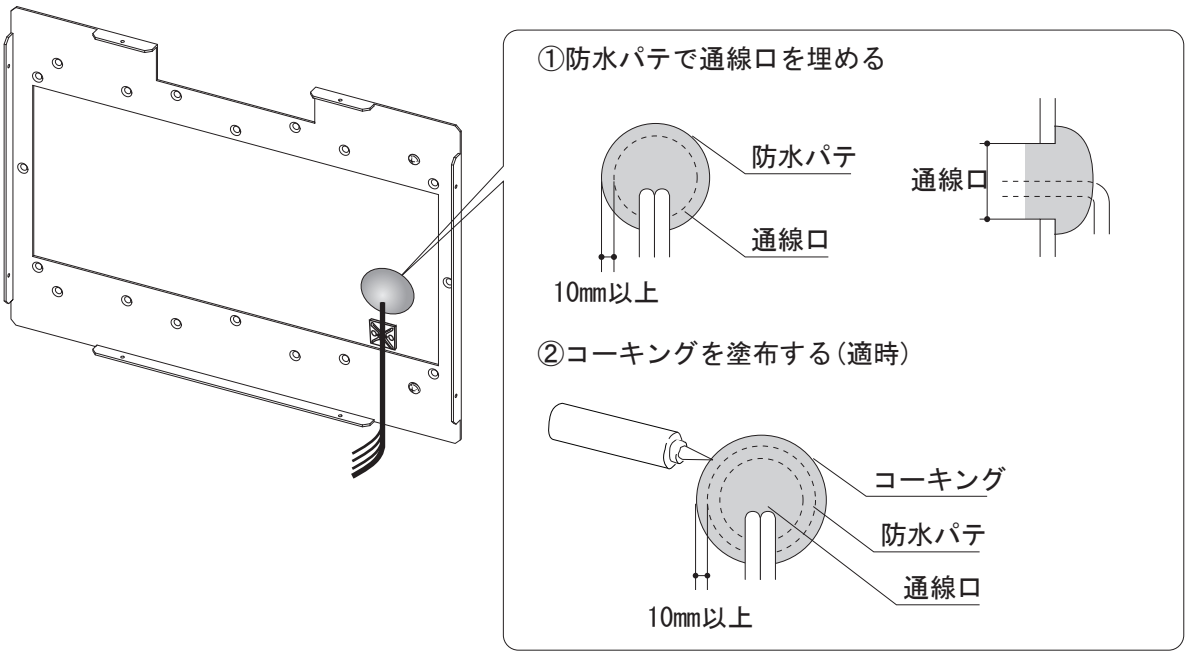
1 壁面に付属のマウントベースを貼り付け、付属の結束バンドでシステムケーブルを固定する

・ マウントベースは、本体とマウントベースが当たらない場所（通線口開口範囲内）に貼り付けして下さい。



2 通線口を付属の防水パテで埋める

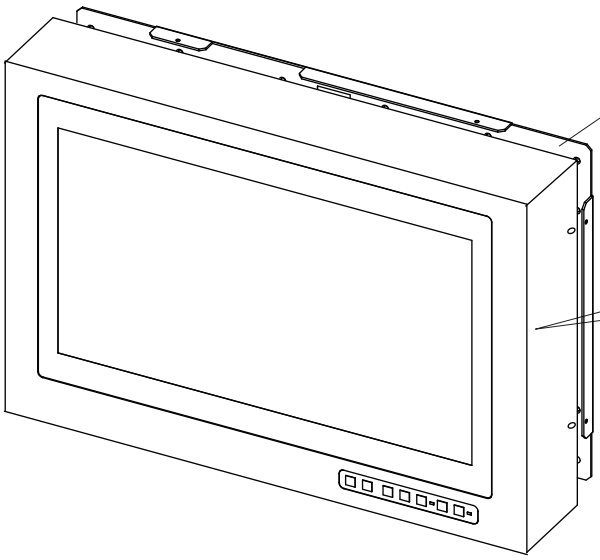
・ 防水パテだけでは壁面内部の止水処理が不十分と考えられる場合、さらにコーキングなどで二次止水処理を行って下さい。



本体の取付

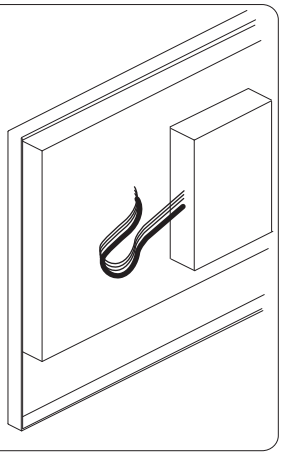
■　止水処理が終了したら、浴室液晶テレビ本体を固定します。

1 システムケーブルを整線する

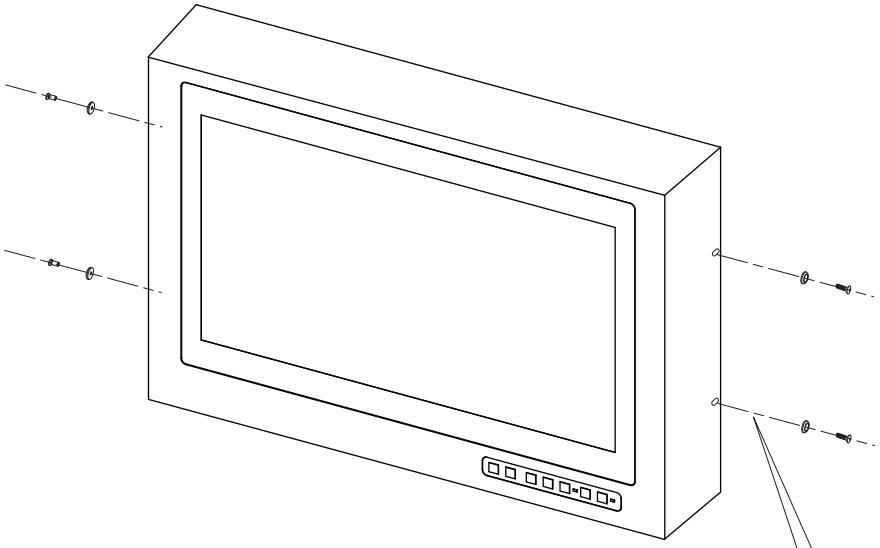


ケーブルの余長は、テレビ本体裏面の収納スペースを利用し、無理の無いように収納します。
（テープなどで仮止め可）

- ケーブルが極端に鋭角にならないようご注意下さい。
- 収納後、ケーブルがはみ出さないようご注意下さい。



2 浴室液晶テレビ本体を壁面ステーに合わせ、本体左右でねじ固定する



付属の化粧ワッシャ、ねじを使用し本体を固定する（4箇所）

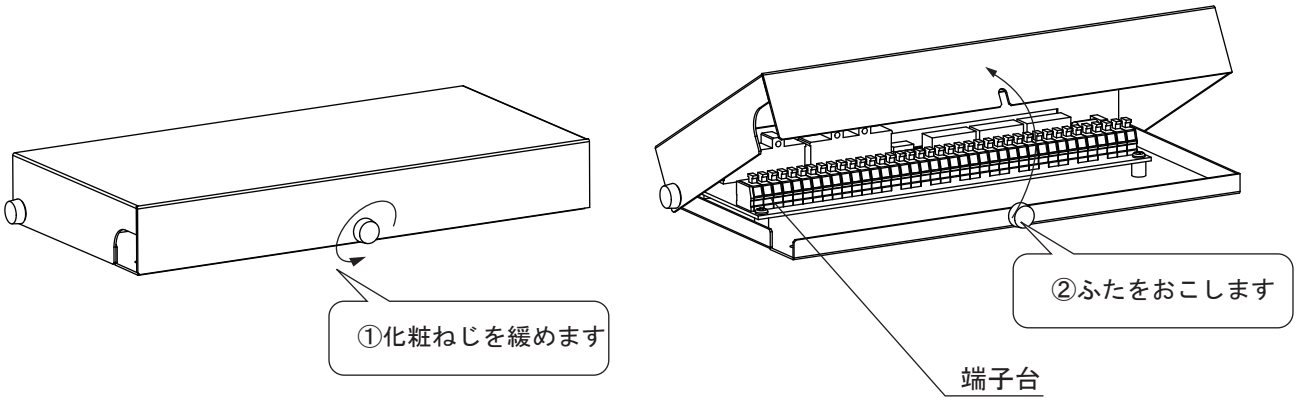
手じめで固定すること

電源ユニットの配線

・ 浴室液晶テレビ本体からのシステムケーブルA、B、Cと、スピーカーからのケーブルを、電源ユニット端子台へ接続します。

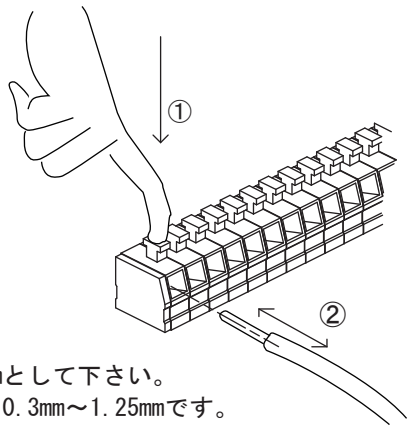
1 電源ユニットカバーを開ける

・ 電源ユニットの化粧ねじを緩めてから、カバーをおこします。



端子台へのケーブル着脱方法

①端子台のヘッドピンを押します。
②ケーブルを着脱します。

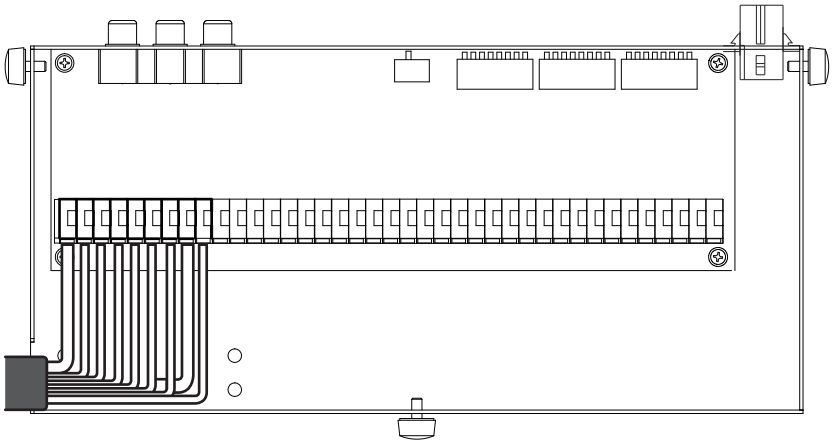


ケーブルのむきしろは10㎜として下さい。
着脱可能なケーブル径はΦ0.3㎜～1.25㎜です。

電源ユニットの配線

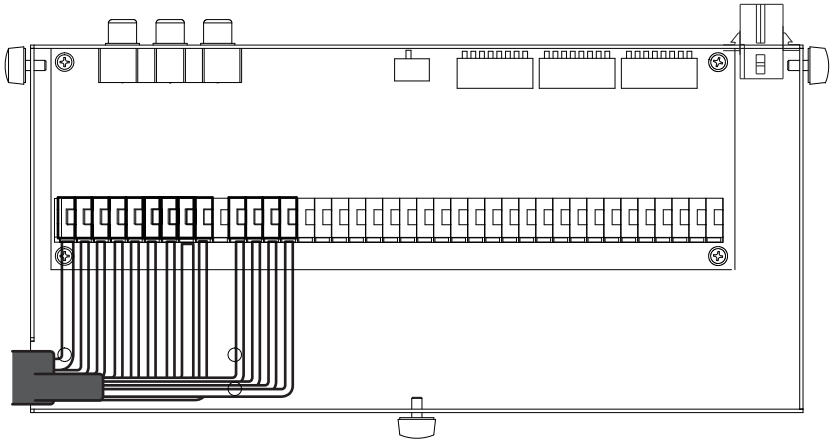
・ 浴室液晶テレビ本体からのシステムケーブルA、B、とスピーカーからのケーブルを、電源ユニット端子台へ接続します。

2 本体システムケーブルA(9芯：黒色ケーブル)を端子台へ接続する



端子台番号	線色	サイズ
1	赤	Φ1.25
2	橙	Φ0.3
3	黄	Φ0.3
4	緑	Φ0.3
5	青	Φ0.3
6	紫	Φ0.3
7	灰	Φ0.3
8	黒	Φ1.25
9	茶	Φ0.5

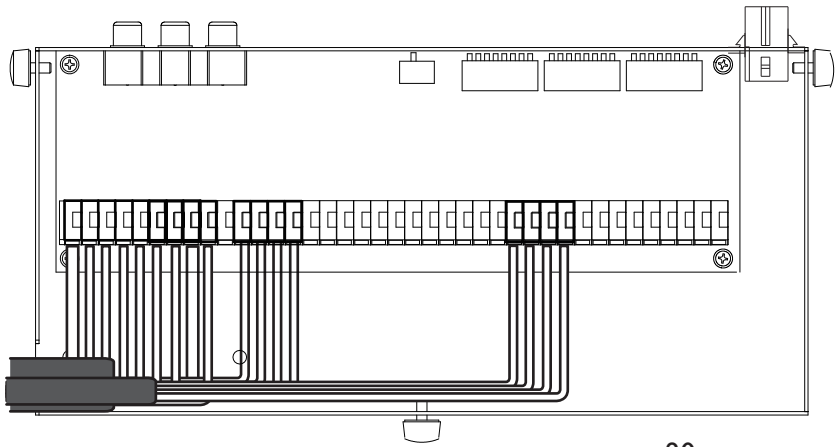
3 本体システムケーブルB(4芯：灰色ケーブル)を端子台へ接続する



端子台番号	線色	サイズ
11	黒	Φ0.3
12	白	Φ0.3
13	赤	Φ0.3
14	緑	Φ0.3

※ 端子台の10番は使用しません。
ケーブルBは11番から接続して下さい。

4 スピーカーケーブルを端子台へ接続する



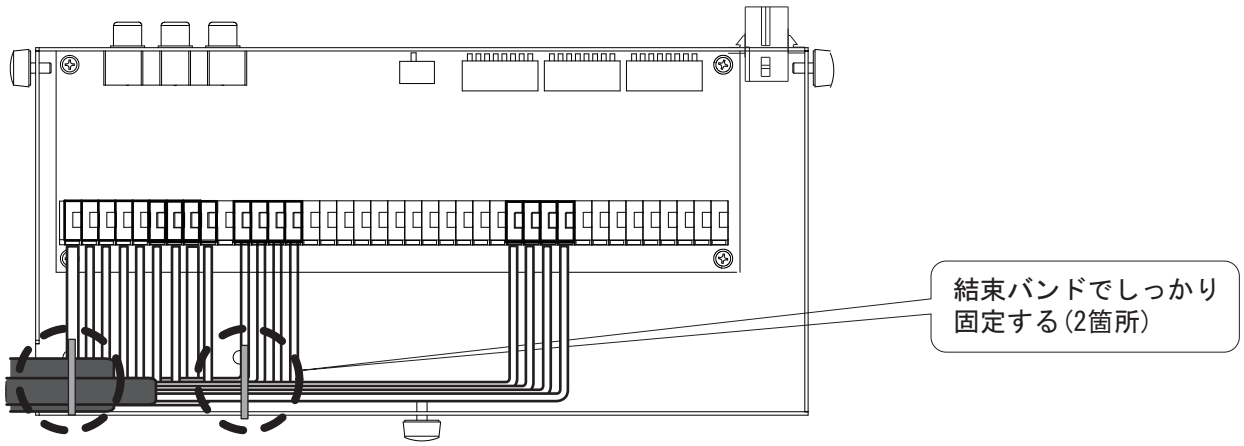
端子台番号	線色	サイズ
27	スピーカー左＋	Φ0.5
28	スピーカー左－	Φ0.5
29	スピーカー右＋	Φ0.5
30	スピーカー右－	Φ0.5

・ 27～30番端子は、ジャンパー配線(わたり配線)をしないで下さい。故障の原因となります。

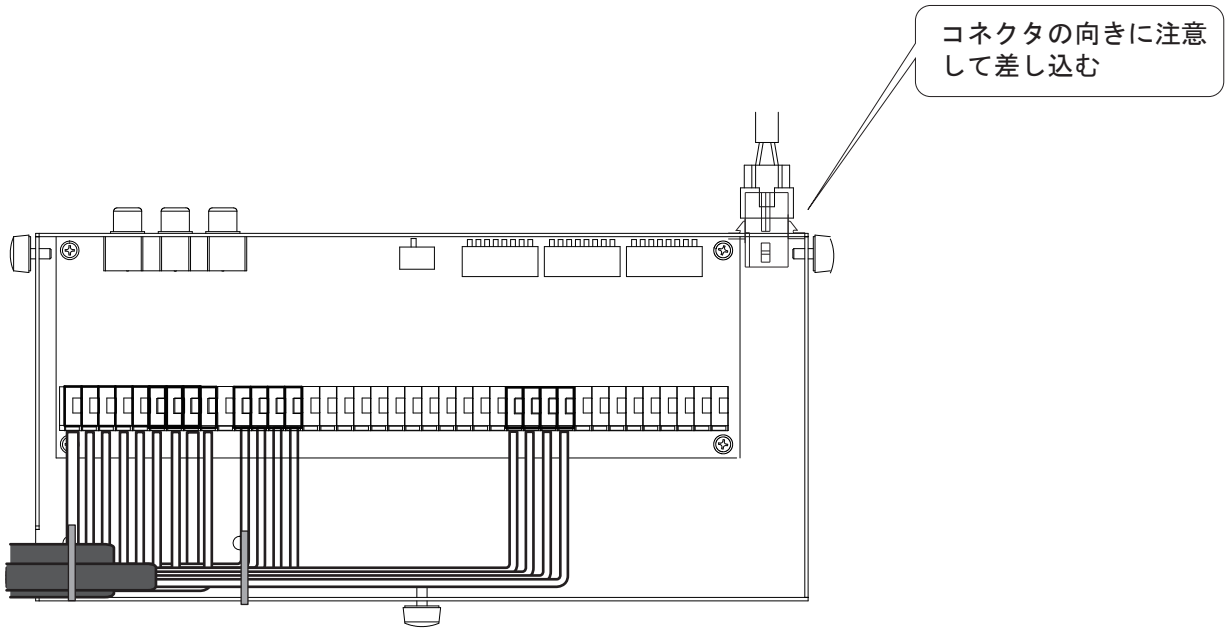
電源ユニットの配線

・ 浴室液晶テレビ本体からのシステムケーブルA、B、とスピーカーからのケーブルを、
電源ユニット端子台へ接続します。

5 結束バンドで固定する



6 付属のACアダプターを電源ユニットのコネクタに接続する



テレビアンテナ線接続

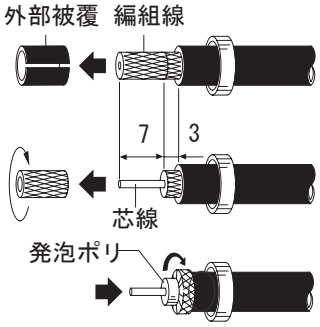
・　テレビアンテナ、アースを一次側線と接続し、AC100V電源を浴室液晶テレビに供給します。

1 本体システムケーブルD(同軸ケーブル)の端末処理

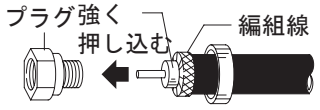
・　システムケーブルD(同軸ケーブル)の端末に、付属の接栓及び中継接栓を取り付けします。

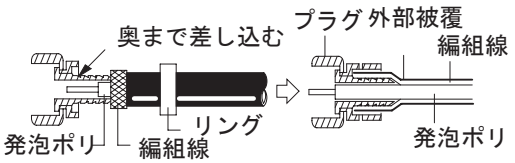
① リングを同軸ケーブルに入れ、カッターで
点線の外周とタテに切り込みを入れる。

② 外部被覆を取り除き、編組線と発泡ポリに切込みを入れる。
編組線と発泡ポリを回しながら抜き取る。

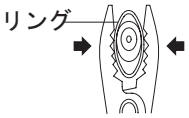


③ 編組線を折り返し、発泡ポリとの間にプラグを
奥まで差し込む。

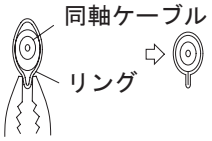


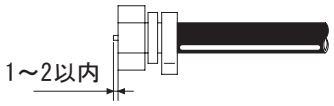


④ ペンチ等でリングの中央部を軽くつぶす。



⑤ 最後に一方をつぶす。

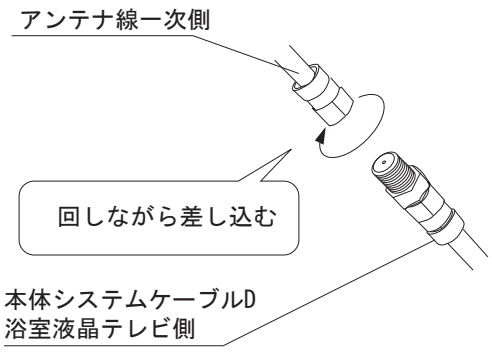




⑥ 中継接栓を回しながら差し込む。

※締め付けはスパナなどで
しっかり固定して下さい。

2 本体システムケーブルD(同軸ケーブル)とアンテナ線一次側を接続する

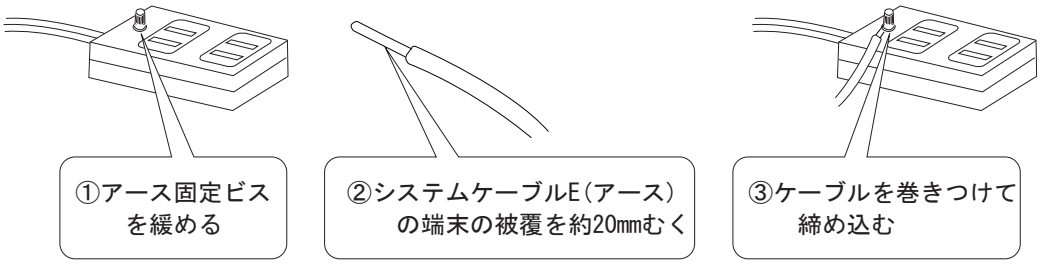


※締め付けはスパナなどで
しっかり固定して下さい。

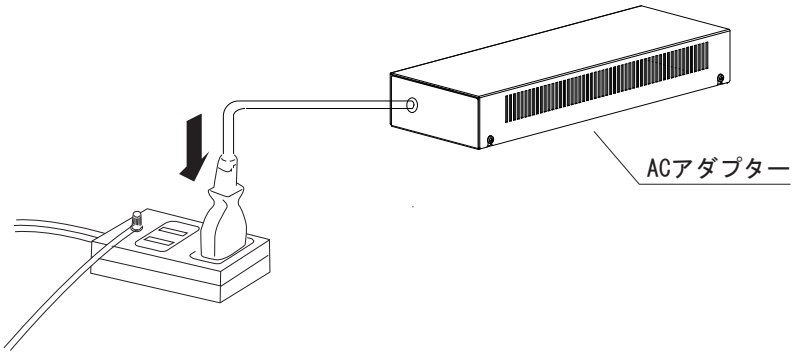
アース接続/AC100V供給

1 システムケーブルE(アース)の接続

- システムケーブルの端末を、アースターミナルに接続します。
- アースターミナルへの接続は、製品により異なります。詳しくは製品の説明書をご確認下さい。
- アースターミナルがない場合は、アース一次側と圧着して下さい。

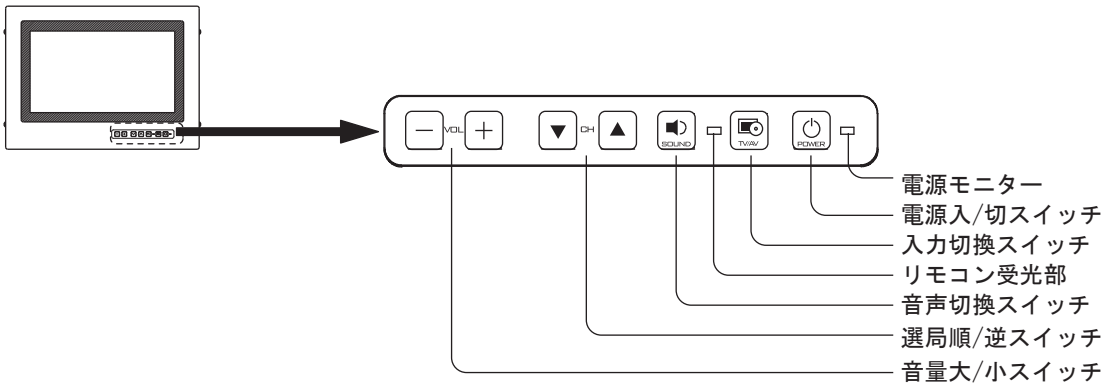


2 電源ユニットに接続されたACアダプターを、コンセントに接続する



一次通電テスト

■　浴室液晶テレビの本体設置・配線接続が終了したら、一次通電テストを行います。



1 POWERスイッチを押し、約10秒以内にテレビが起動するか確認する

- スイッチを押すと「ピー」と音が鳴ります。
- 最初の起動では、デジタル放送のデータの処理を内部回路で行っている為、起動に多少時間がかかります。

2 テレビが起動した時、電源モニターランプが点灯しているか確認する

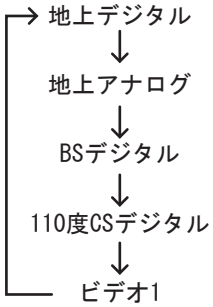
3 ▼CH▲スイッチでチャンネルが切り換わるか確認する

- テレビ側のチャンネル設定を行っていない為、画面上に「このチャンネルは受信できません」等のメッセージが表示される事があります。

4 −VOL+スイッチで音量が切り換わるか確認する

5 TV/AVスイッチで入力切替が出来るか確認する

- 押すたびに以下のように切り換わります。



6 設定用リモコンをテレビ本体のリモコン受光部に向けてメニュースイッチを押し、「メニュー」画面が表示されるか確認する

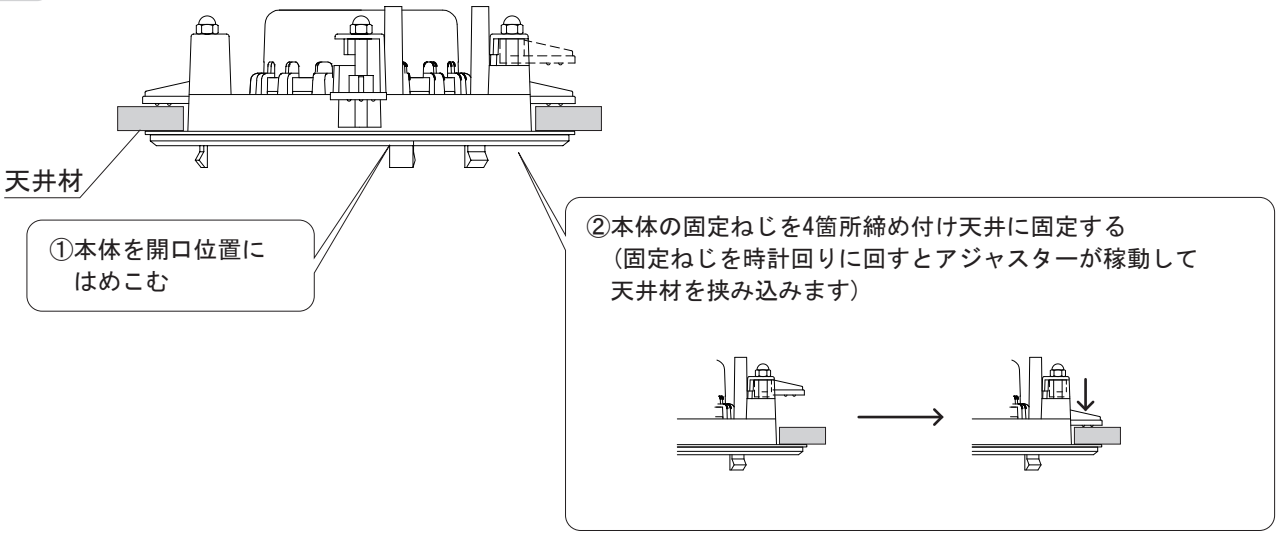
- 下記のようなトラブルが発生した場合、確認欄を参考に確認作業を行って下さい。

項　目	確　認　欄
電源が入らない	・ 電源ユニットにAC100Vが供給されていますか? ・ 電源ユニット内のシステムケーブルは外れていませんか？ ・ システムケーブルの端子番号はあっていますか？ ・ システムケーブルを通線中に傷つけていませんか？
映像が映らない	・ テレビアンテナ線は接続されていますか？ ・ アンテナの一次側から映像は送られていますか？
映像が乱れる	・ テレビアンテナ線のジョイント部は確実にされていますか？ ・ アンテナの一次側のレベルは規定値に達していますか？
音が出ない 音が低い	・ スピーカーの配線接続はされていますか？ ・ スピーカーの極性は正しいですか？ ・ ローインピーダンススピーカーを使用していますか？ ・ 防水スピーカーを使用していますか？

スピーカーの取付

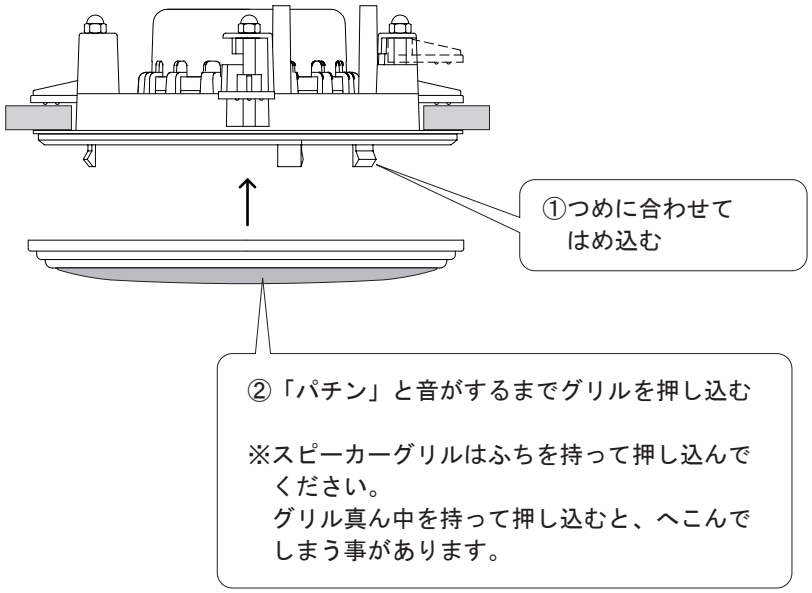
- 天井の材質、補強材の位置などを調べたうえでスピーカー用の開口を行って下さい。
- 以下の手順は、オプションの防水スピーカー[OE-180WRⅡ]をもとに記載しています。
  異なるスピーカーを使用する場合は、製品の説明書をご確認下さい。

1 スピーカーを固定する



2 スピーカーグリルを本体にはめ込む

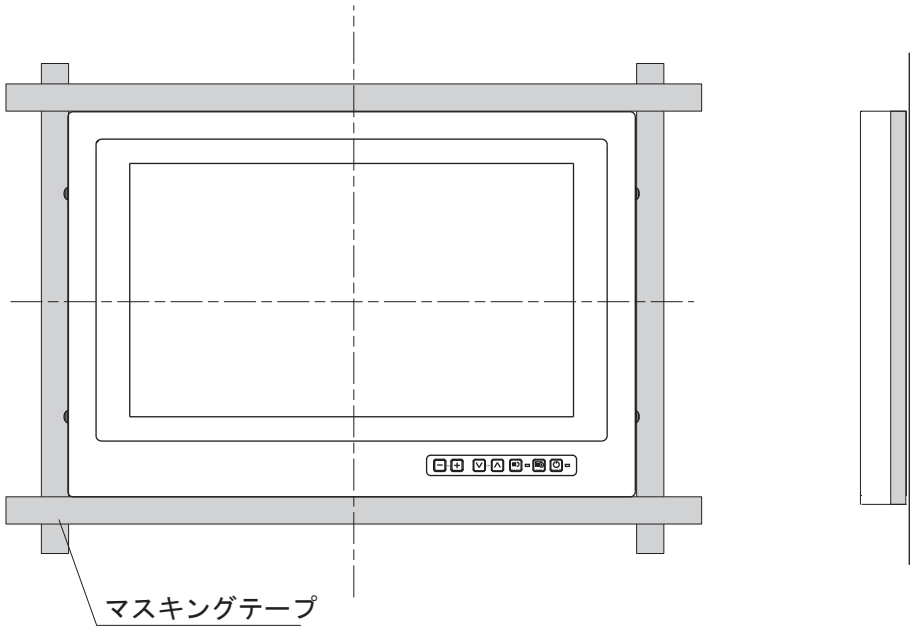
- スピーカー本体とグリルは、3箇所あるつめを合わせてはめ込みます。



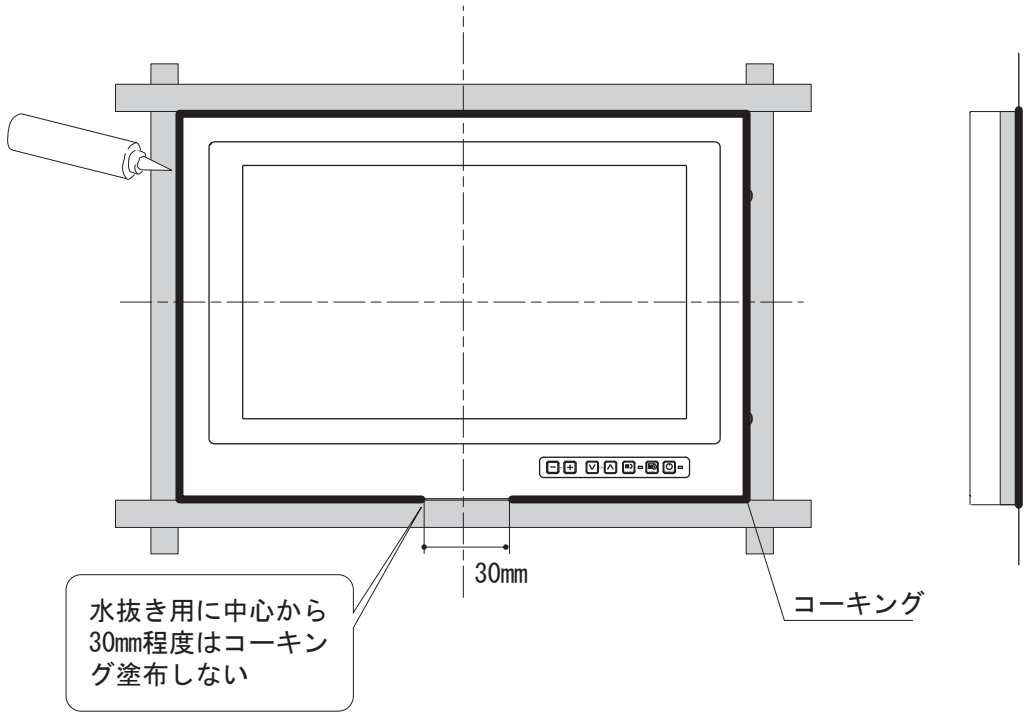
本体止水処理

■ 一次通電テストが正常に終了したら、浴室液晶テレビ本体の止水処理を行います。

1 本体外周にマスキングテープを貼付する



2 本体外周にコーキングを切れ目無く塗布する（下部中央部は水抜き用に約30㎜開放して下さい）



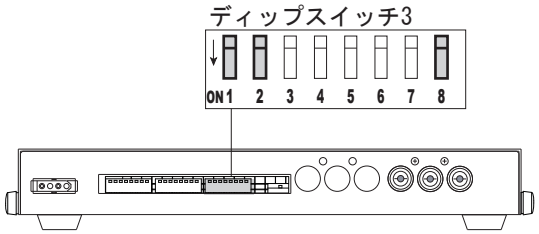
- コーキング材は、防カビタイプをご使用下さい。
- コーキング材の色は、壁面の色に合わせてご用意下さい。特に指定がない場合は、シルバーやグレー色をご使用下さい。
- コーキング材の乾燥時間は、気温や湿度などの条件により異なります。詳しくは、使用するコーキング材の説明書をご確認下さい。

電源ユニット初期設定

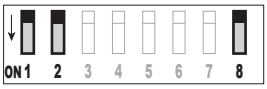
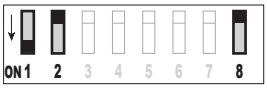
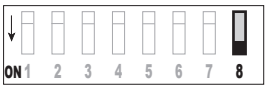
オフタイマー

■本製品は、省エネに役立つオフタイマー機能を内蔵しています。
電源ユニットのディップスイッチ切換でオフタイマー機能を
有効/無効にすることが出来ます。
消し忘れ防止に便利です。

ディップスイッチ3



視聴する場合はON(下側)に、スキップする場合はOFF(上側)に
設定します。

タイマー値	ディップスイッチ3
30分	
60分	
90分	
120分	
連続運転※	

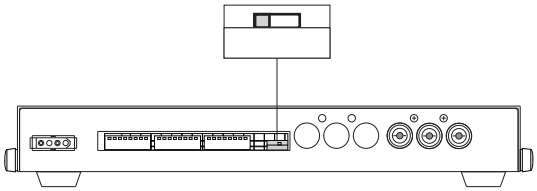
・ オフタイマーは毎回テレビを起動する度に適用され、テレビ起動
から設定時間を経過後、自動的に電源をOFFにします。

※連続運転の場合、ディップスイッチ3-1、及び3-2はON/OFF
はどちらでも構いません。

スピーカー設定

■スライドスイッチは必ず左側に設定して下さい。
（工場出荷時は左）

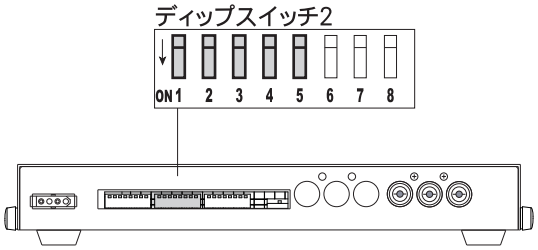
スライドスイッチ



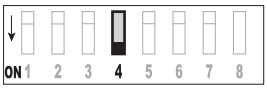
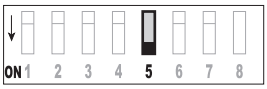
スピーカー	スライドスイッチ
	左

電源ユニット初期設定(つづき)

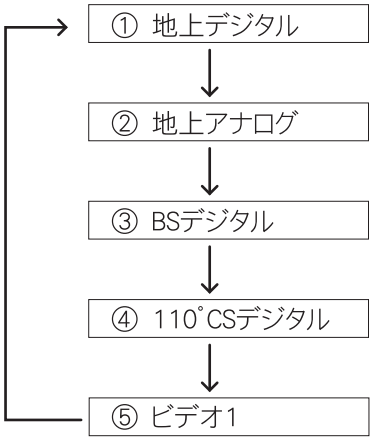
■本製品は、視聴するネットワークやビデオ入力を個別に受信する/しないを設定可能です。
設定切換は電源ユニットのディップスイッチ2で行います。
本体操作パネルの TV/AV スイッチを押すたびに、ネットワークやビデオ入力を切り換えます。



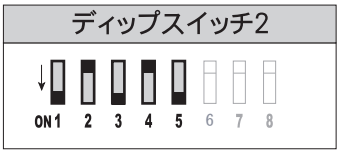
視聴する場合はON(下側)に、スキップする場合はOFF(上側)に設定します。

ネットワーク	ディップスイッチ2
地上デジタル	
地上アナログ	
BSデジタル	
110˚CSデジタル	
ビデオ1	

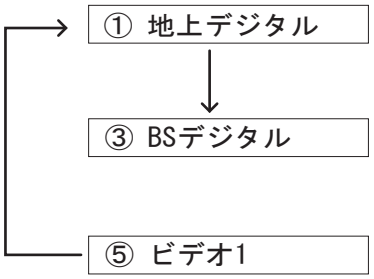
・ TV/AV スイッチを押す度に切り換わる優先順位/切換順序は以下の通りです。



[例]地上デジタル放送/ビデオ1を視聴する場合



・この設定の場合の優先順位/切換順序は以下の通りです。



システムリセットが必要です。

※ この受信スキップを設定変更した場合は、ACアダプターのコンセントを抜き、約5秒後に再度差し込んで下さい。
その後テレビを起動して、受信スキップ設定が正しいか確認をして下さい。

**電源ユニットの初期設定が終了したら、テレビ電源を入れ、設定用リモコンでチャンネルの設定などを行って下さい。
詳しくは、別紙の取扱説明書をご確認下さい。**

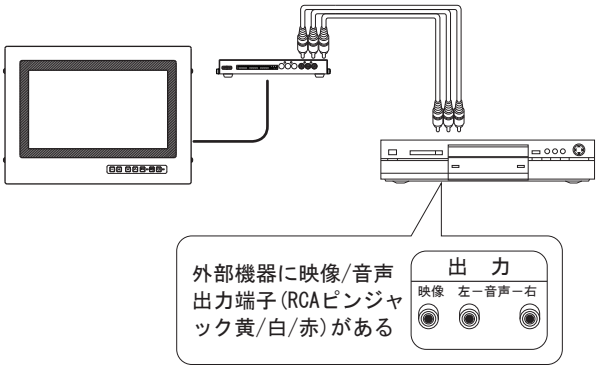
浴室液晶テレビで出来る拡張機能

■本製品は、様々な拡張機能を内蔵しています。

①　DVDプレイヤー等の外部機器を接続して視聴が可能　　32～33ページ

・　本製品は、ビデオ1として、外部機器を接続しての視聴が可能です。
　RCAピンコードで接続することが可能です。

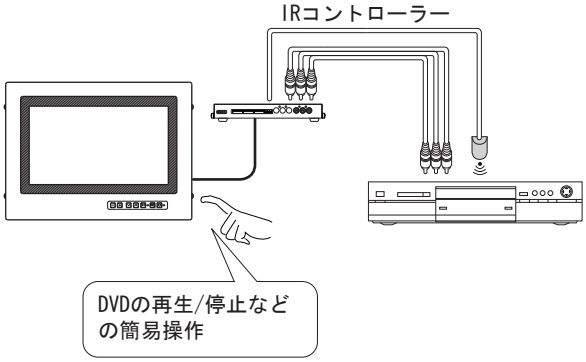
■ビデオ1に接続できる外部機器(ライン形式)



②　外部機器の簡易コントロール(ビデオコントロール)が可能　　34ページ

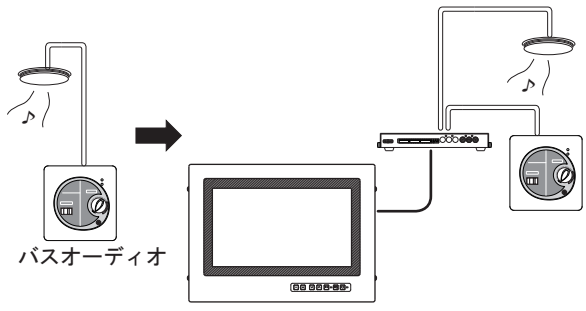
・　オプションのIRコントローラー[SBT-IRC]を接続すると、①で接続した外部機器を、浴室テレビの操作パネルで簡易操作が可能となります。
　DVDプレイヤーの再生や一時停止の為に、わざわざ浴室から出なくても浴室テレビからその操作が出来ます。

※　ビデオコントロール対応機器は不定期で更新されます。
　詳しくはwebサイト、販売店へご相談下さい。



③　バスオーディオ/BGMシステムとの連動　　35ページ

・　バスオーディオ機器とスピーカーが既に浴室に設置されている場合、浴室テレビとスピーカーを共有できます。
　テレビ電源が切れている時はバスオーディオ、テレビ電源が入ればテレビの音声を出力切換することが可能です。
　既設のオーディオ機器を撤去せず、継続してご使用できます。

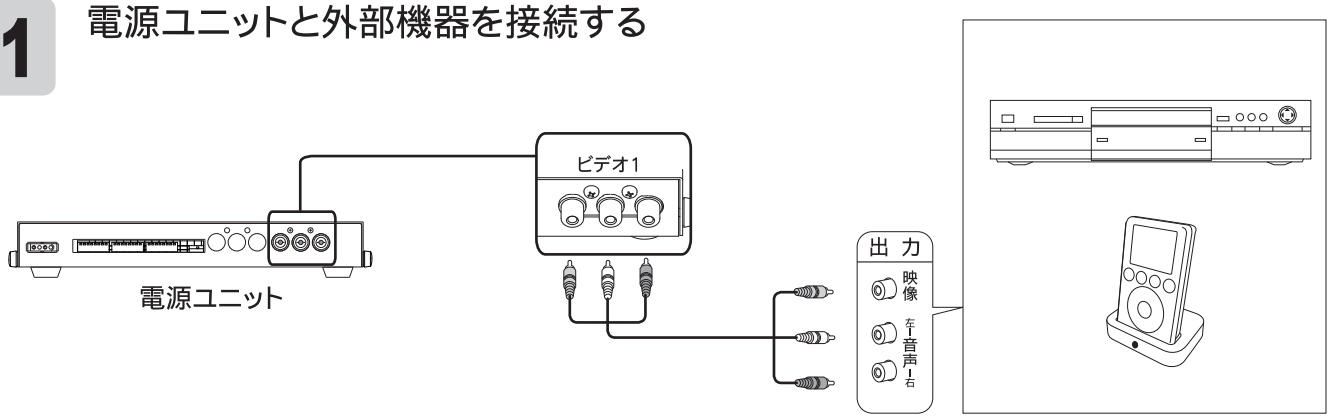


ビデオモード1を使用する

■ビデオモード1を利用して、DVDプレイヤーなどの外部機器を接続して視聴することができます。

外部機器に映像/音声出力端子(RCAピンジャック黄/白/赤)がある場合

1 電源ユニットと外部機器を接続する



2 電源ユニットの「受信スキップ設定(30ページ)」で、ビデオ1を「ON」に設定する

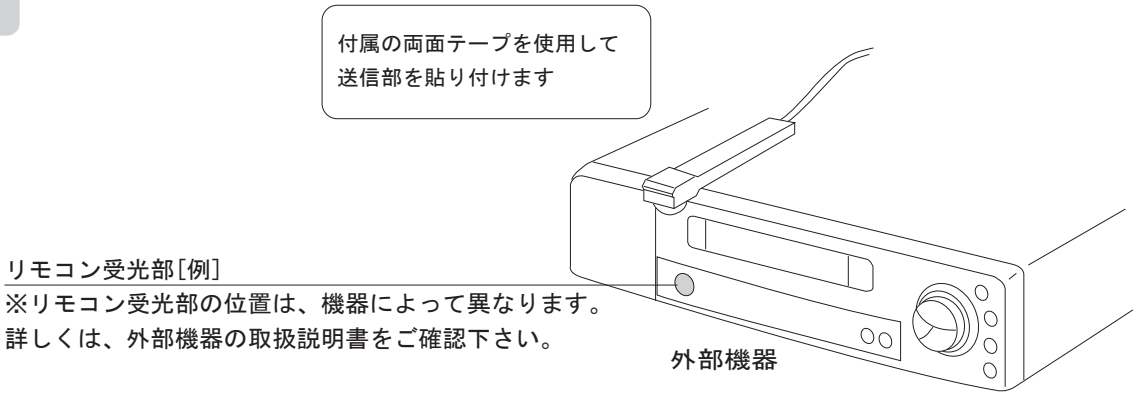
3 テレビの電源を入れ、ビデオモード1の視聴ができるか確認する

- 外部機器が別室にあるなどの場合、RCAピンコード線を適時延長配線して下さい。
- 配線の延長により、映像や音声にノイズが発生したり、信号が減衰することがあります。
  映像ブースターなどを使用して調整して下さい。

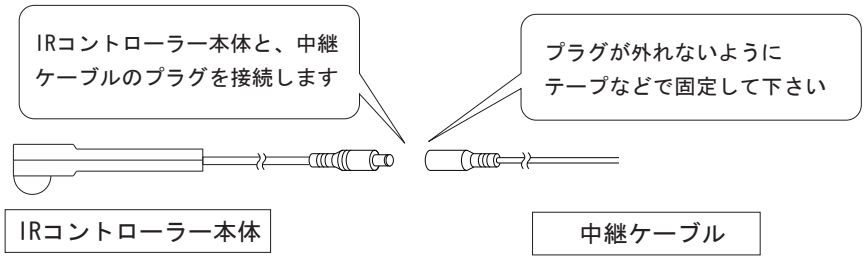
ビデオコントロール機能を使う

■ ビデオコントロール機能を使って、外部機器を簡易コントロールする事ができます。
機能を有効にするには、オプションのIRコントローラーが必要です。

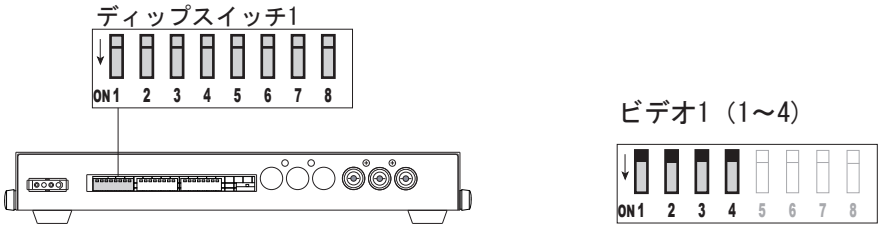
1 オプションのIRコントローラー送信部を外部機器に取り付けする



2 IRコントローラー本体と、中継ケーブルのプラグ同士を接続する

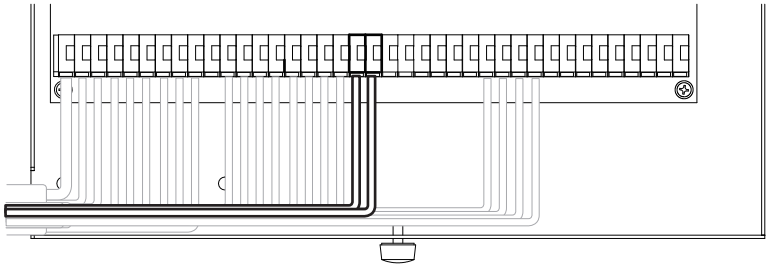


3 ビデオコントロール一覧表を確認し、電源ユニットのディップスイッチ1を該当する機器にあわせる



ビデオ1（1～4）

4 中継ケーブルの端末を、電源ユニットの端子台へ接続する



「ビデオ1」として接続する場合

端子台番号	線色	サイズ
19	白	0.3sq
20	黒	0.3sq

5 テレビの電源を入れ、ビデオコントロールが出来るか確認する

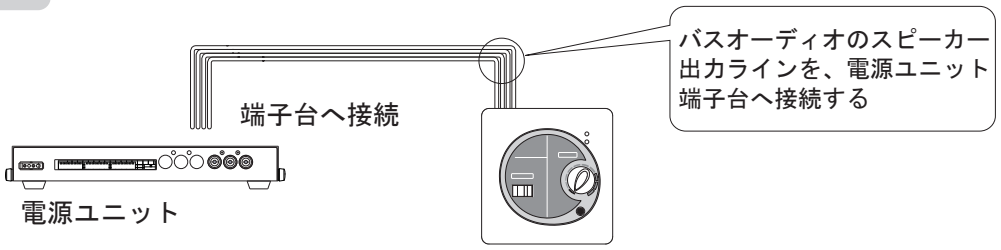
- 外部機器が別室にあるなどの場合、IRコントローラーの配線を適時延長配線して下さい。
- IRコントローラーを延長配線する場合、1芯シールド線(MVVS0.3×1C)などをご使用下さい。

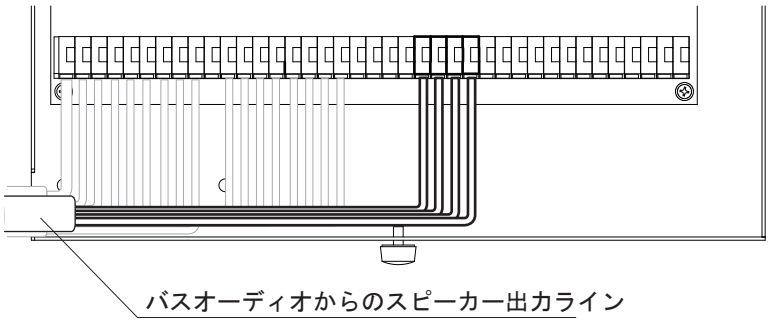
バスオーディオ/BGMシステム連動

■既にバスオーディオやBGMシステムが設置されている場合、バスオーディオと連動させたシステムを構築することができます。
浴室液晶テレビがOFF状態の時はバスオーディオの音を鳴らし、浴室液晶テレビがON状態の時は、テレビ音声を鳴らします。
スピーカーは既設のものを使用して共有する為、継続してご使用できます。

- スピーカーはローインピーダンス仕様のみ使用可能です。
- 浴室テレビとバスオーディオは、それぞれアンプが搭載されている為、音量が異なります。
音量の調整は、各機器単位で行って下さい。

1 バスオーディオのスピーカー出力ラインを電源ユニット内端子台へ接続する

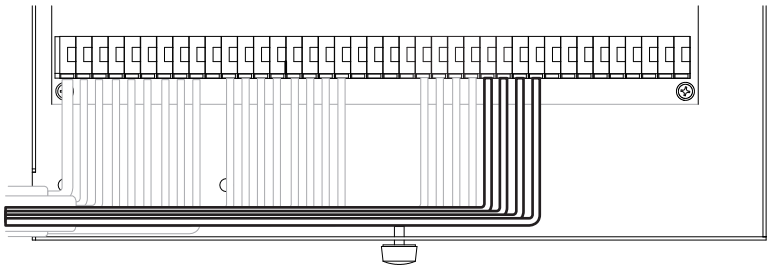




端子台番号	線色	サイズ
23	BGM　左＋	0.3～0.75
24	BGM　左－	0.3～0.75
25	BGM　右＋	0.3～0.75
26	BGM　右－	0.3～0.75

2 電源ユニットとスピーカーを接続する

- バスオーディオの電源が入っている状態で配線を行うと、突然音が鳴り出す場合があります。
必ず電源を切った状態で行って下さい。



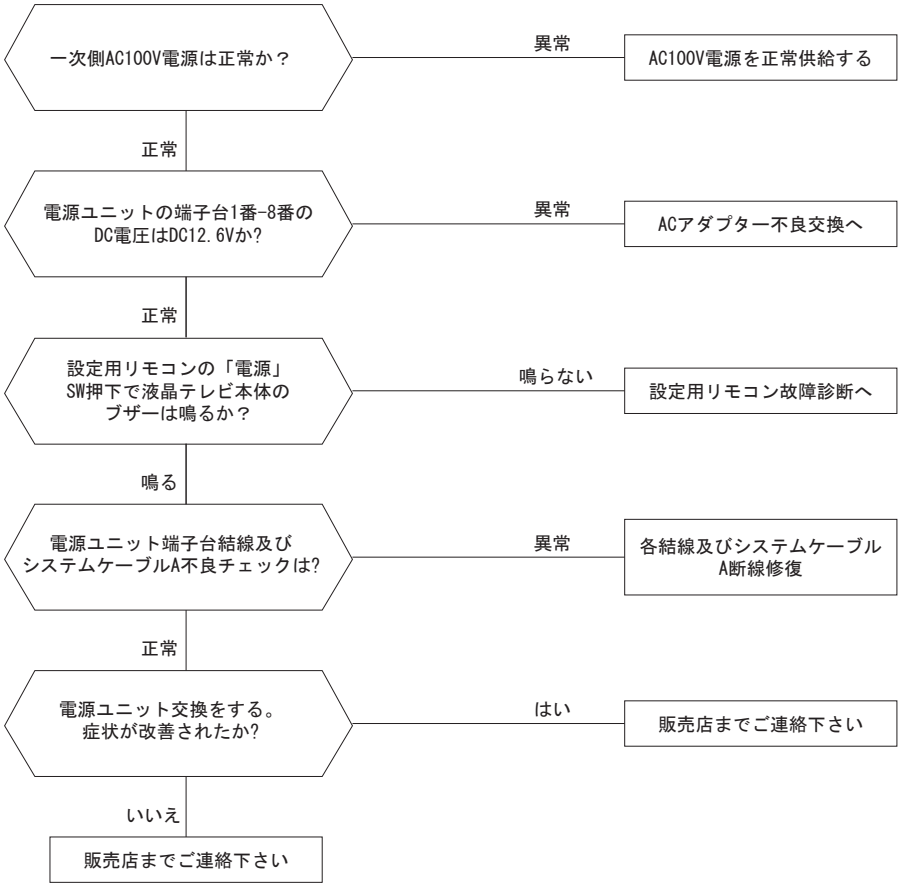
端子台番号	線色	サイズ
27	スピーカー左＋	Φ0.3～0.75
28	スピーカー左－	Φ0.3～0.75
29	スピーカー右＋	Φ0.3～0.75
30	スピーカー右－	Φ0.3～0.75

3 浴室液晶テレビ電源がOFF時はバスオーディオの音声がなり、浴室液晶テレビ電源がON時はテレビ音声がなるか確認する

- スピーカーはローインピーダンス仕様のみ使用可能です。
- 浴室テレビとバスオーディオは、それぞれアンプが搭載されている為、音量が異なります。
音量の調整は、各機器単位で行って下さい。

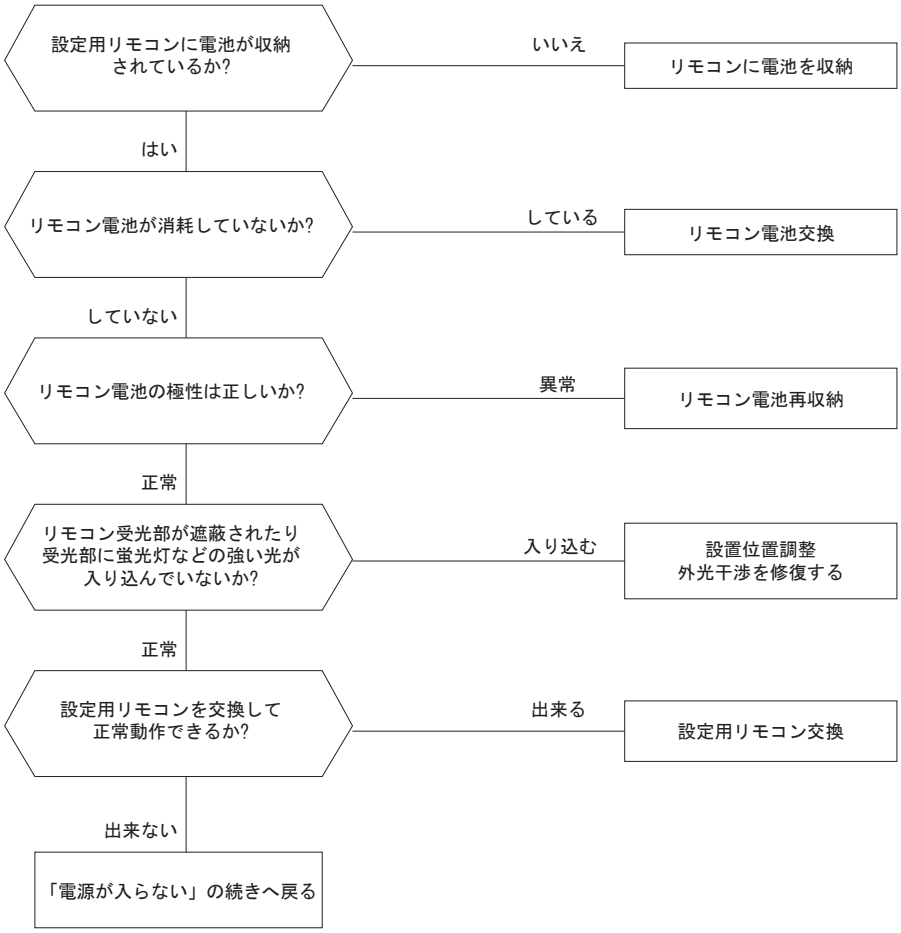
故障診断フローチャート

1 電源が入らない



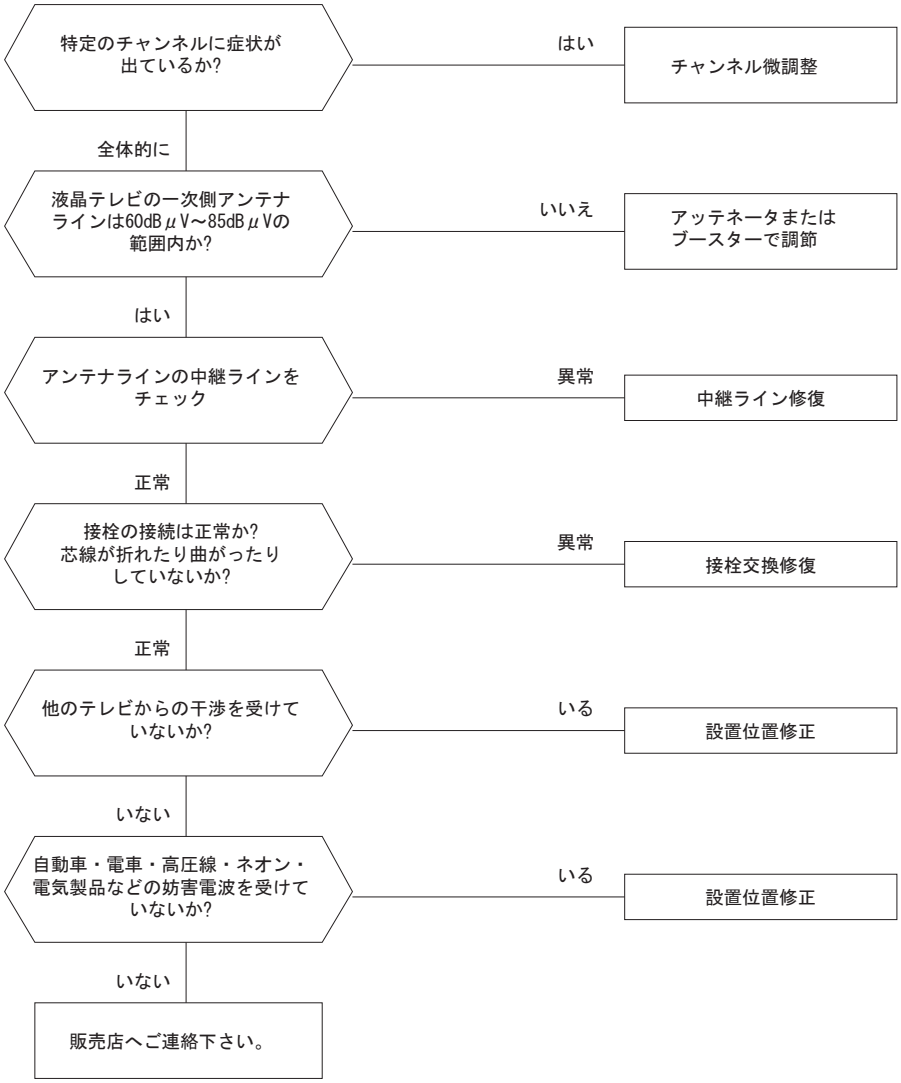
故障診断フローチャート

2 設定用リモコンが操作できない



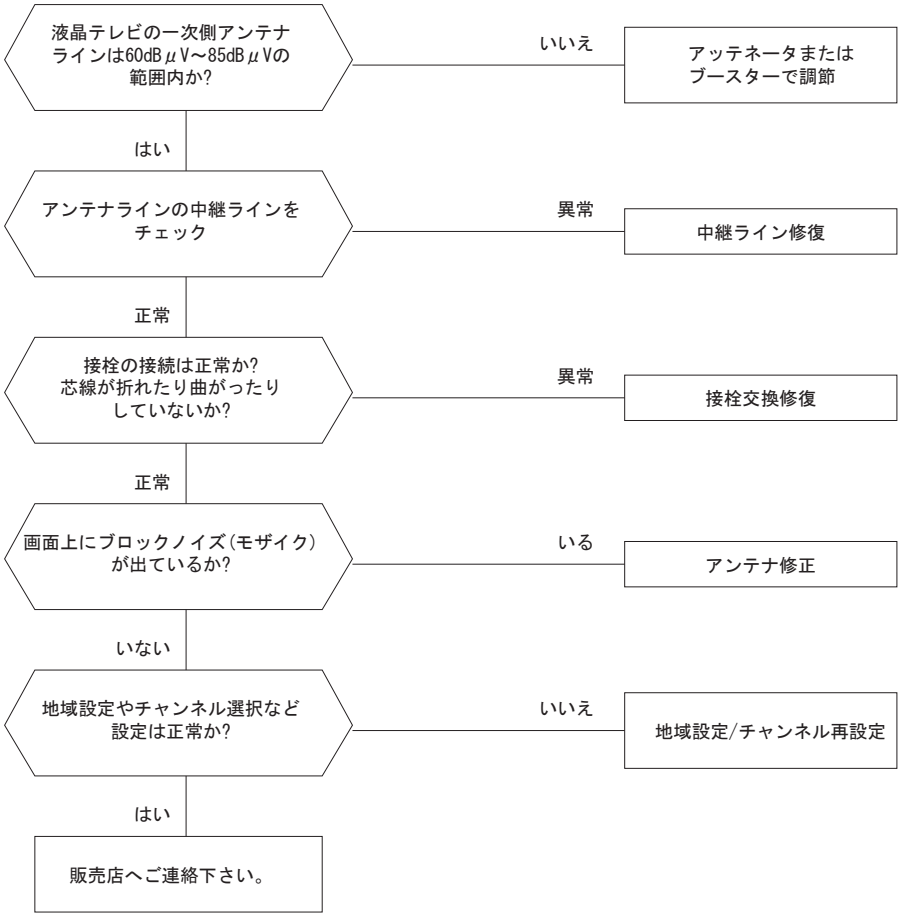
故障診断フローチャート

3 地上アナログ放送で映像がゆれる、不鮮明



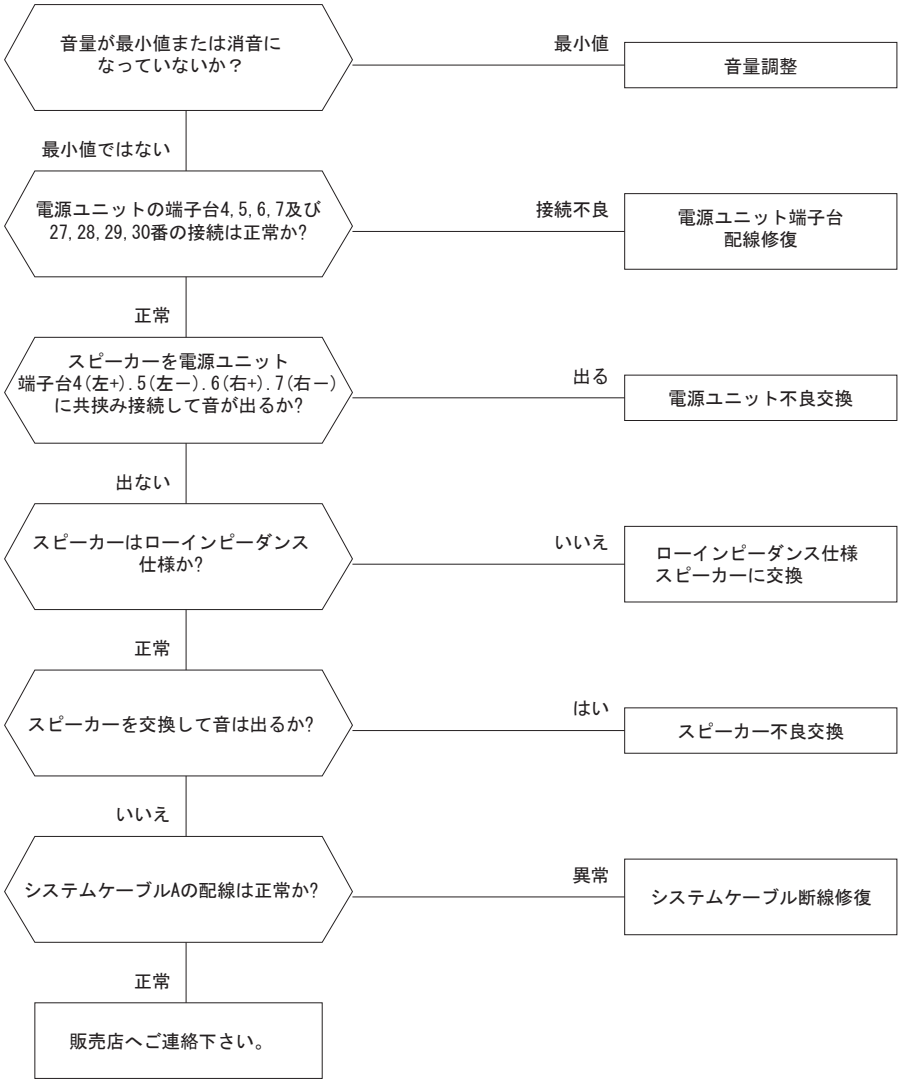
故障診断フローチャート

4 デジタル放送で映像が不鮮明、視聴できない



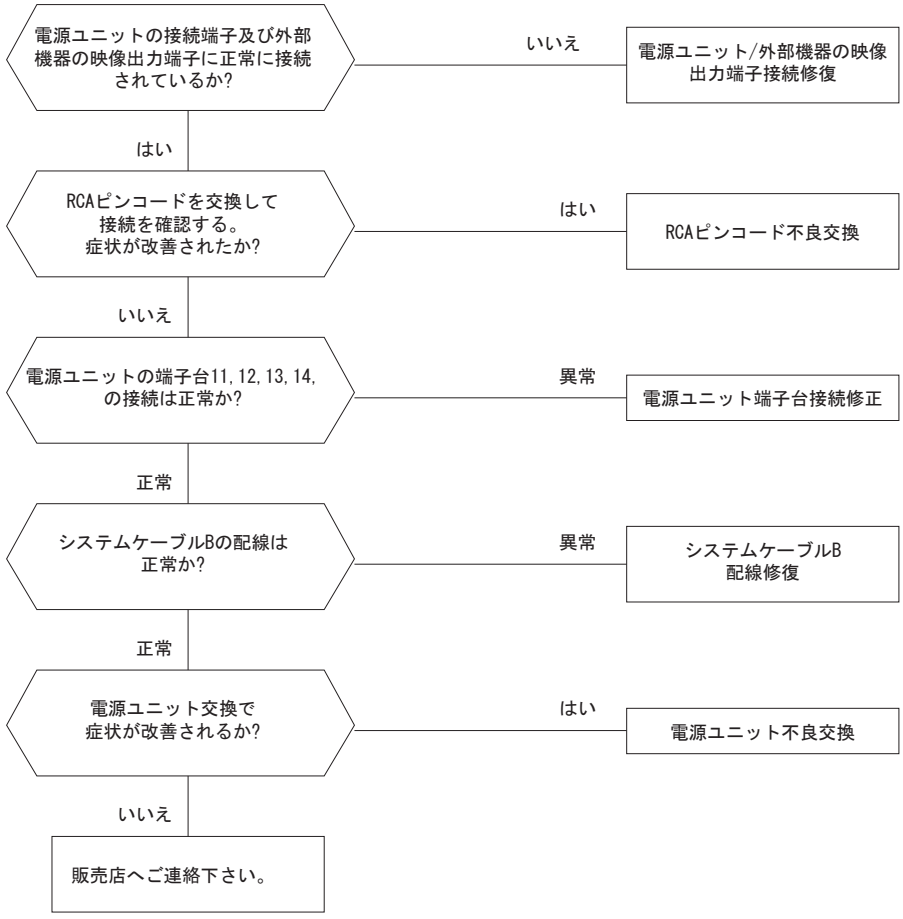
故障診断フローチャート

5 テレビ視聴時音が出ない



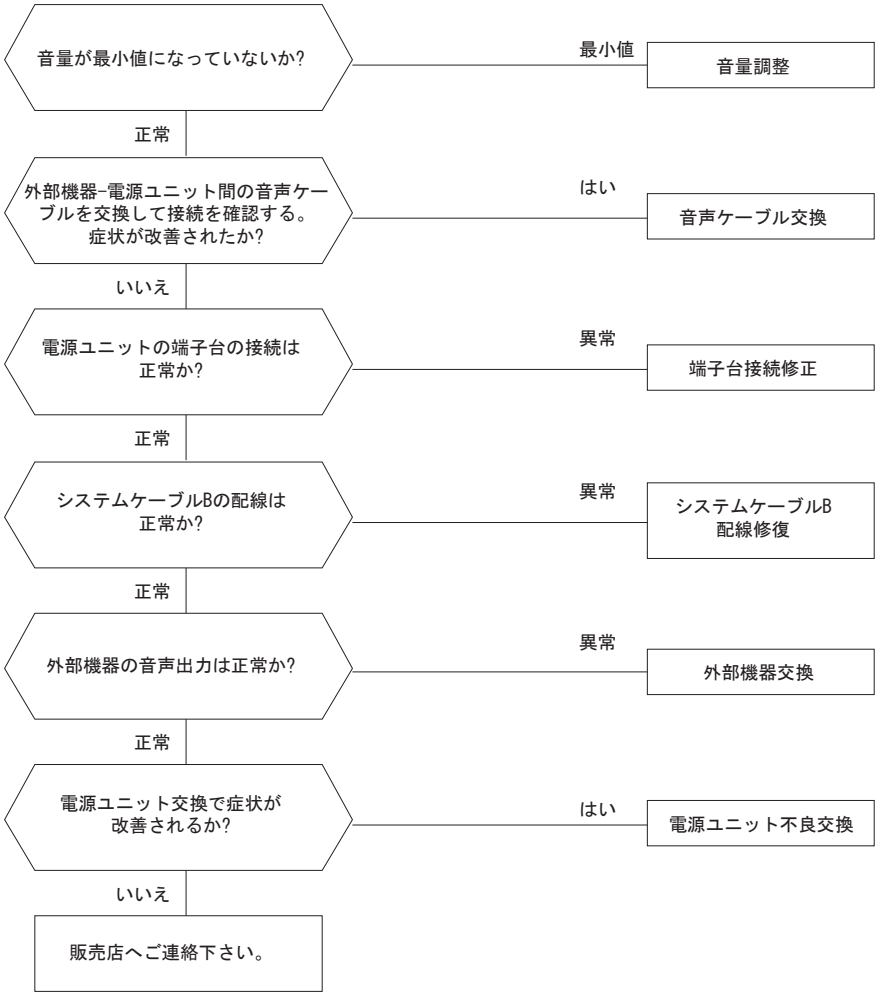
故障診断フローチャート

6 ビデオモード1の映像が出ない



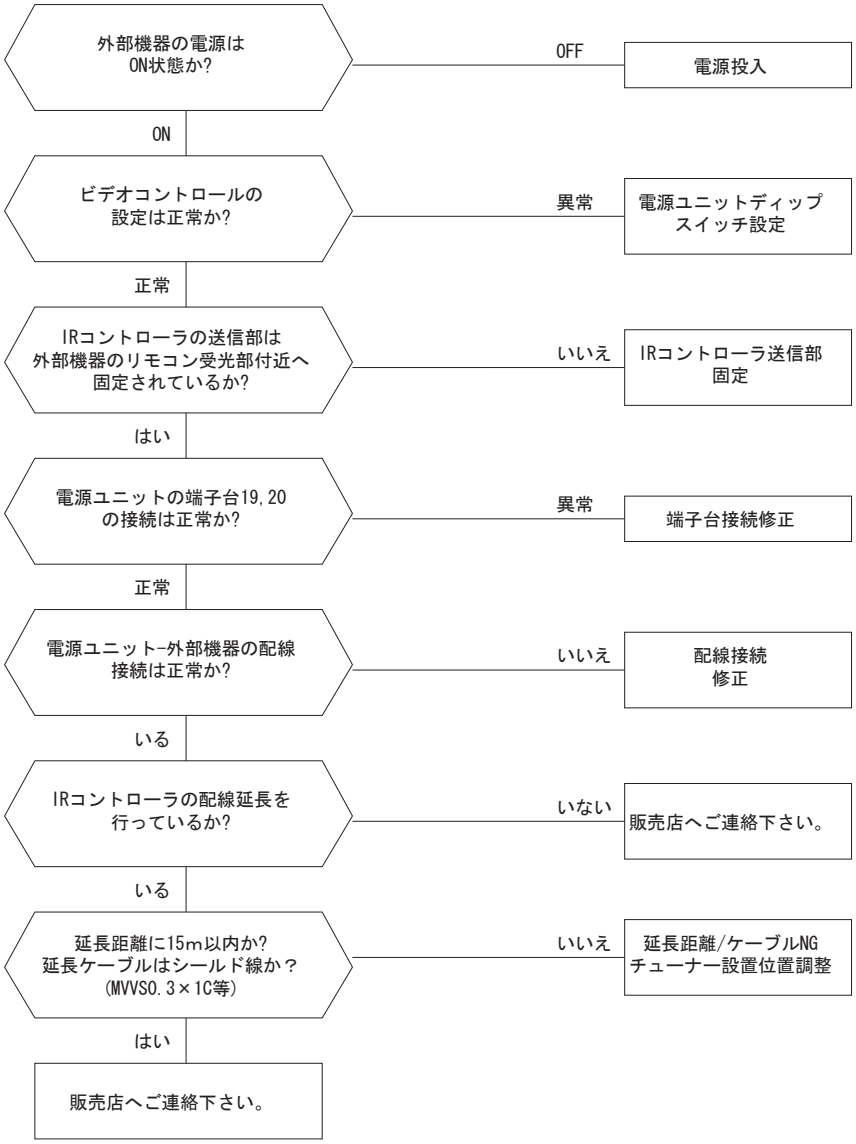
故障診断フローチャート

7 ビデオモード1で音が出ない



故障診断フローチャート

8 ビデオモード1のIRコントロールが出来ない



おもな仕様

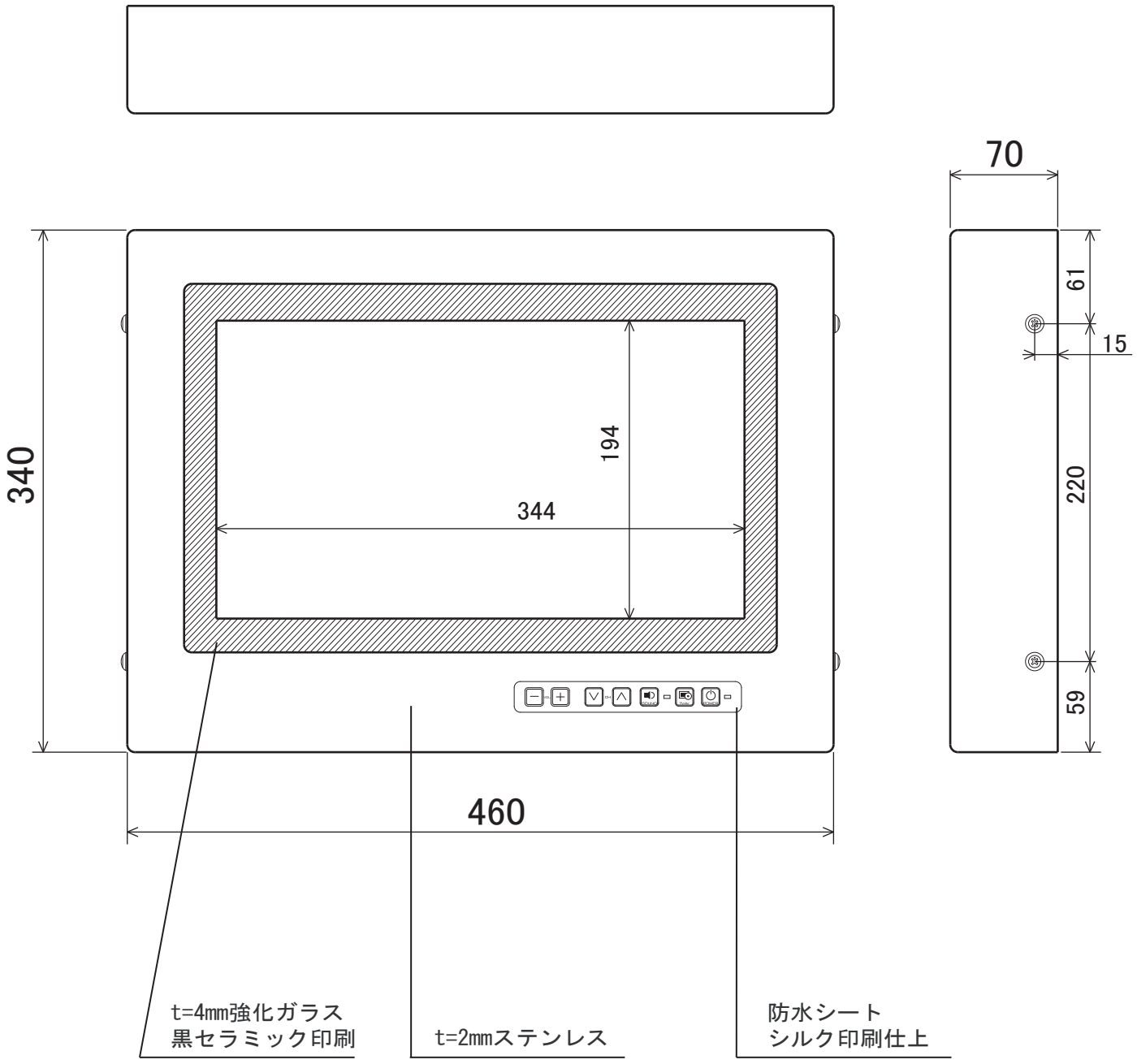
型式		SBT-16D2W
液晶パネル	画面サイズ	16V型 (横344mm×縦194mm)アスペクト比16：9
	駆動方式	TFT(薄膜トランジスタ)アクティブマトリクス駆動方式
	画素数	1,366(水平)×768(垂直)画素
	使用光源	LED
アンテナ入力		VHF/UHF 75Ω不平衡型(地上デジタル入力共用)BS-IF 75Ω不平衡型
音声出力		総合6W(3W×2)　　総合10W(5W×2)
定格電圧		AC100V、DC12V(付属ACアダプター使用)
定格周波数		50/60Hz
消費電力		約38W
接続端子		外部1：RCAコンポジット入力 外部スピーカー入力/浴室テレビ電源OFF時スピーカー出力 外部機器コントロールIR出力
本体システムケーブル		専用ケーブル2本、アンテナ同軸ケーブル1本、アースケーブル1本※1
受信チャンネル		地上デジタル(ワンセグを除く)011～528ch（CATVパススルー対応） BSデジタル001～999ch 110度CSデジタル000～999CH 地上アナログVHF1～12ch　UHF13～63ch　CATV13～63ch
BS/110度CS チャンネル受信仕様	変調	時分割多重mPSK
	トランスポート	MPEG2システム
	映像	MPEG2(MP@HL)
	音声	MPEG2 AAC
	限定受信システム	ARIB CASシステム
	受信周波数帯域	11.71GHz～12.75GHz
	IRD受信周波数帯域	1032MHz～2071MHz
地上デジタル チャンネル受信仕様	変調	直交周波数分割多重(OFDM)
	トランスポート	MPEG2システム
	映像	MPEG2(MP@HL)
	音声	MPEG2 AAC
	限定受信システム	ARIB CASシステム
	受信周波数帯域	93MHz～767MHz
	CATVパススルー対応	UHF帯、ミッドバンド(MID)帯、スーパーハイバンド(SHB)帯、VHF帯
保護ガラス		t=4mm　強化ガラス
本体材質		t=2mm　ステンレス
表面仕上選択	ヘアライン仕上 SBT-16D2W(H)	横目ヘアライン仕上
	鏡面仕上 SBT-16D2W(K)	＃800鏡面研磨仕上
操作パネル		防水シート/エンボス加工　　POWER、TV/AV、SOUND、CH+/－、VOL＋/－、リモコン受光部、電源モニター
外形寸法	露出シリーズ　SBT-16D2W	460(W)×340(H)×70(D)
重量(本体/壁面ステー含む)		約15Kg
防水ランク		IP66(耐水型/防塵型)相当
パッケージ内容		浴室液晶テレビ本体(システムケーブル付)、電源ユニット、ACアダプター、設定用リモコン(非防水)、設定用リモコン付属乾電池 壁面ステー、本体取付用ビス/ワッシャ、壁面ステー固定用ビス/カールプラグ、防水パテ、取扱説明書、施工説明書

■電源ユニット/ACアダプター

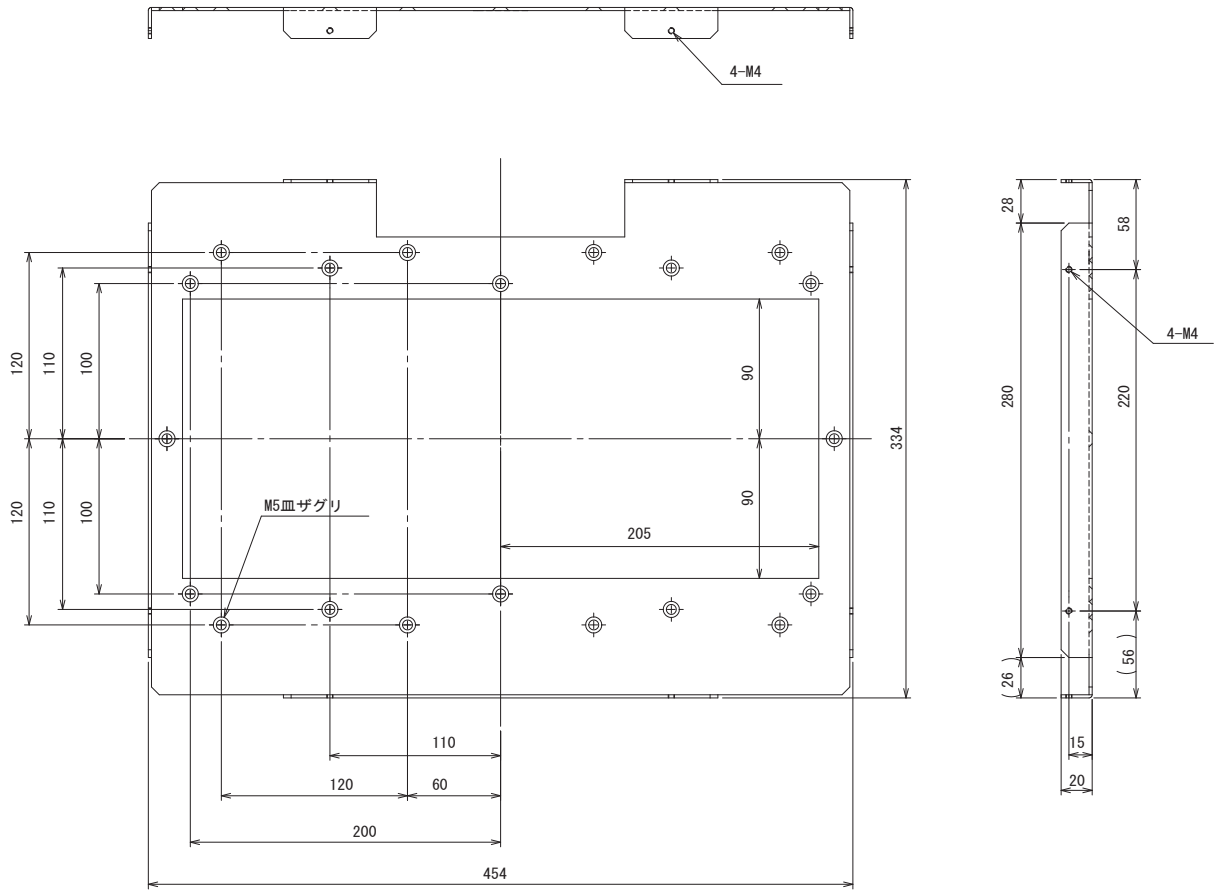
電源ユニット外形寸法　重量	238(W)×31(H)×112(D)　　約600g
接続端子	本体内部端子台39P、RCAピンジャック1系統
各種スイッチ	ディップスイッチ8桁×3、スライドスイッチ×1
ACアダプター外形寸法　重量	193(W)×41(H)×63(D)　　約400g
電源入力・出力	入力AC100V 50Hz/60Hz　　出力DC12V

※1.　システムケーブルは、浴室液晶テレビと一体構造であり、浴室液晶テレビ本体裏面からケーブルが出ております。

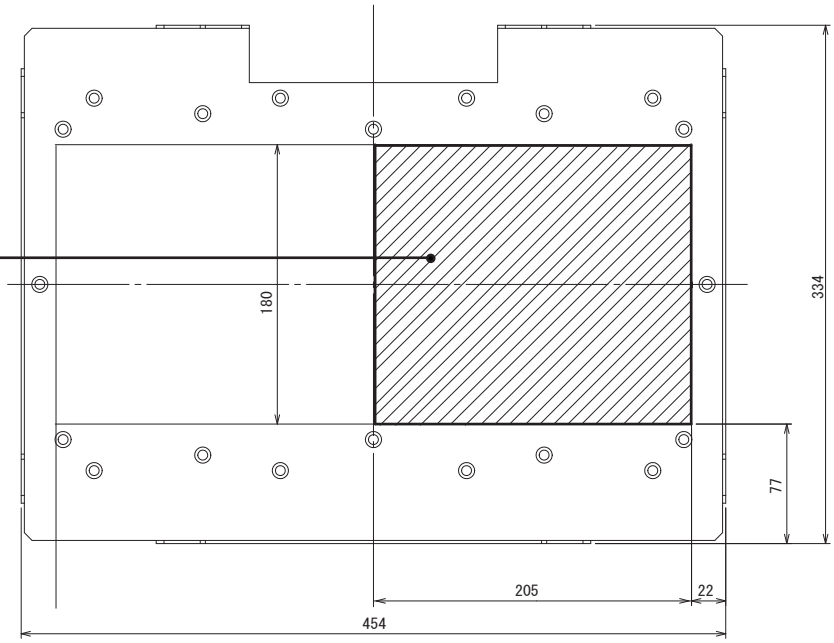
本体外形寸法図(SBT-16D2W)



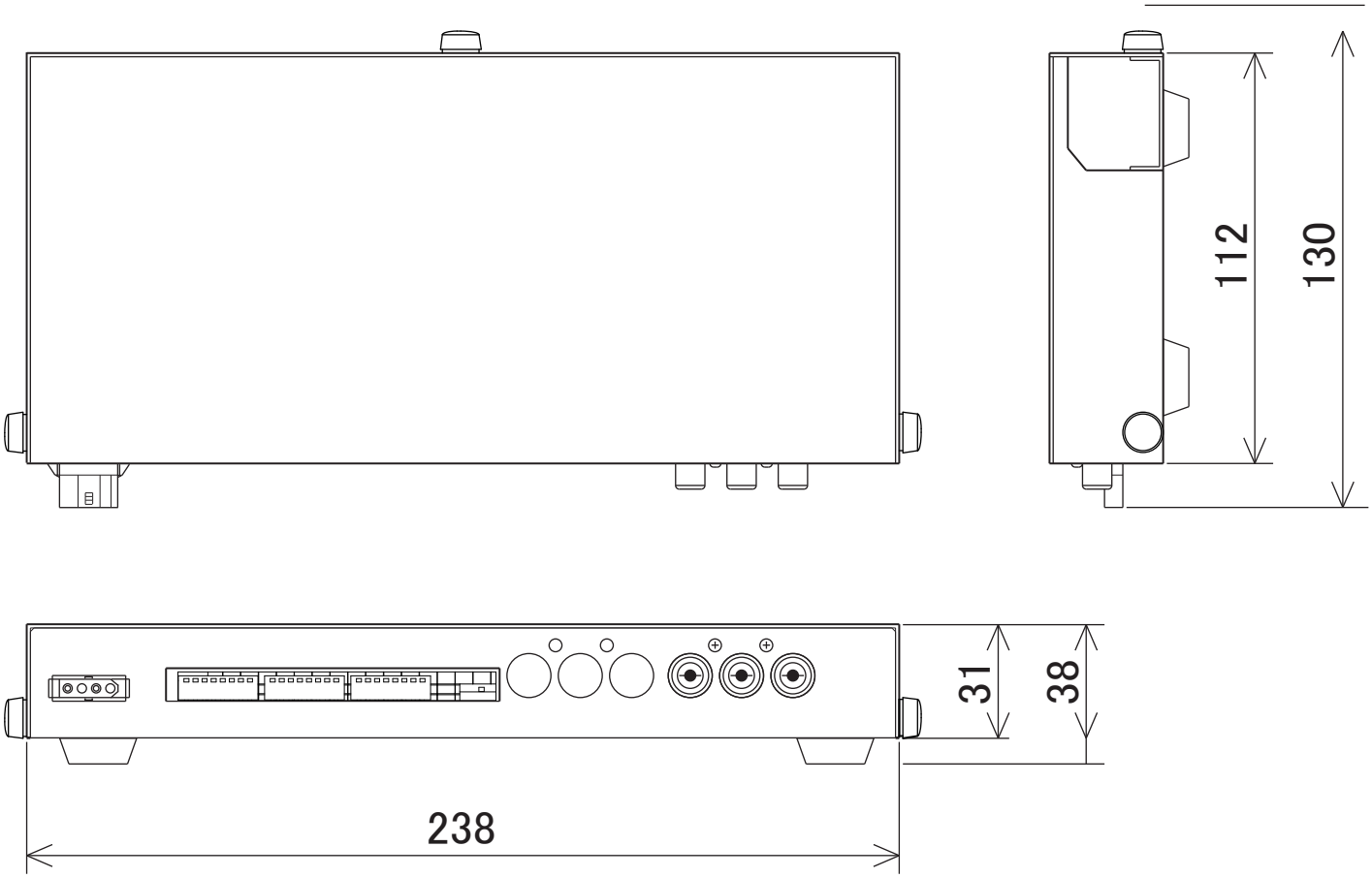
壁面ステー寸法/開口指示



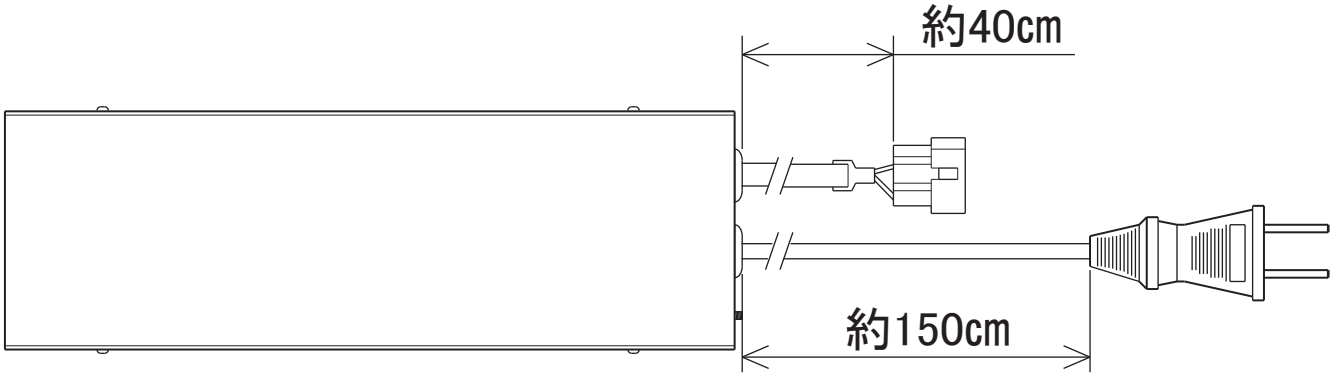
・斜線部分範囲内にシステムケーブル通線開口処理を行って下さい。
・範囲内にΦ30㎜以上の穴を1箇所開けて下さい。
・通線後に止水処理を行う為、必要以上に大きな穴を開けない様にして下さい。
・保護配管を埋設する場合、Φ22㎜×2本かΦ28㎜×1本を使用して下さい。

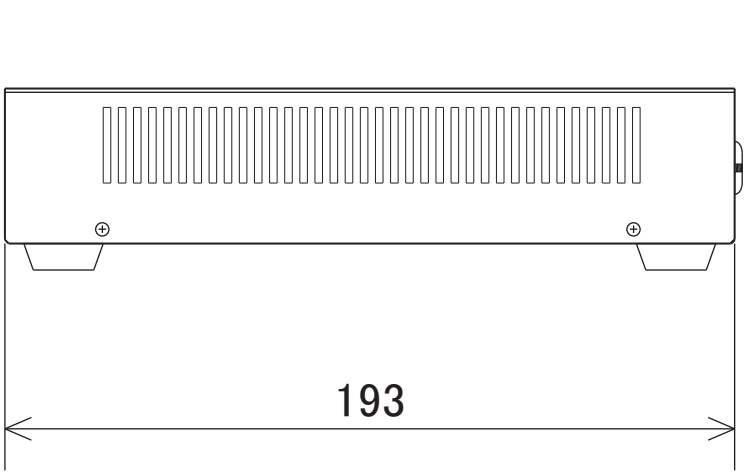


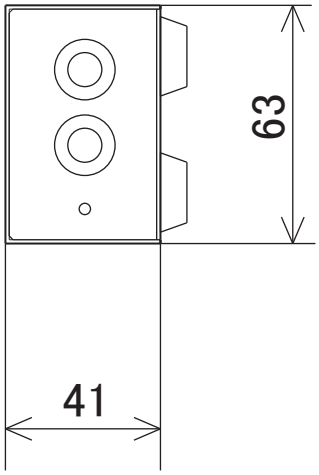
寸法図(電源ユニット)



寸法図(ACアダプター)







改訂履歴

No	変更日付	変更内容	変更理由
初版	2011年5月23日	変更内容	変更理由

Sun-Abe

サンエーブ技研工業株式会社

本　社：〒190-0023東京都立川市柴崎町2-13-22
TEL.042-522-0310(代)　FAX.042-523-0538
http://www.sun-abe.co.jp